HITACHI
Inspire the Next

取扱説明書

保証書別添付

日立エコキュート
家庭用ヒートポンプ給湯機

給湯専用

・オートストップ機能付

システム形式 BHP-ZA46JU
BHP-ZA37JU

・標準

システム形式 BHP-Z46JU
BHP-Z37JU

耐塩害仕様は、形式の末尾に「E」がつきます。
耐重塩害仕様は、形式の末尾に「J」がつきます。

このたびは家庭用ヒートポンプ給湯機をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。**この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。**
お読みになったあとは、保証書・カンタンご使用ガイド・工事説明書とともに大切に保存してください。

「安全上のご注意」➔P.5～9 をお読みいただき、正しくお使いください。

ご注意

時間帯別電灯契約専用です。
時間帯別電灯契約は、時間帯により、電気料金が異なります。
リモコンの時刻表示が現在時刻とずれていると、電気料金が高くなることがあります。現在時刻になっていることを確認してください。➔P.46

17A23181A

はじめに（特長とお知らせ）

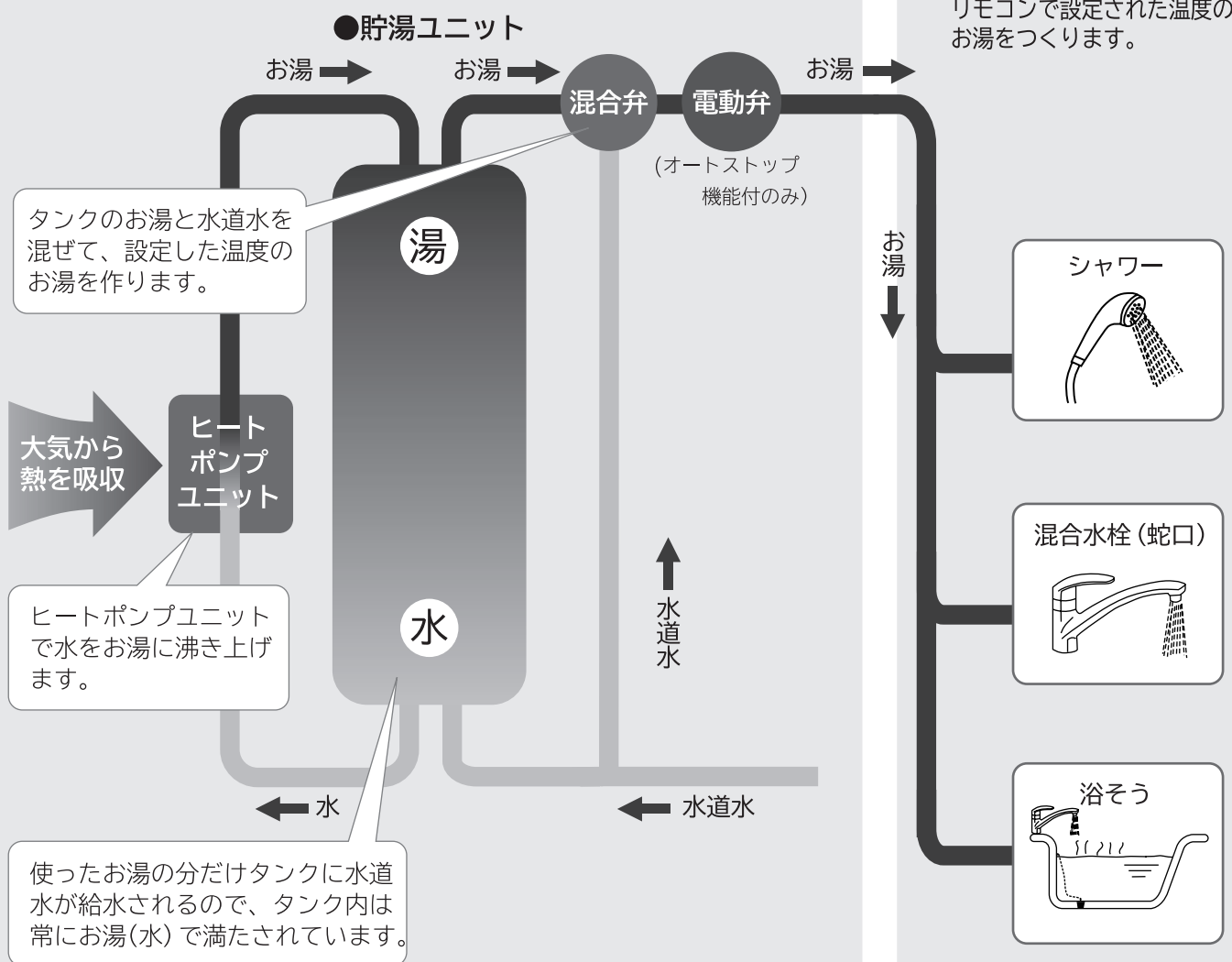
エコキュートってどんなもの

エコキュートは、空気中の熱を利用し、電気エネルギーを約３倍の熱エネルギーに変えて、効率よくお湯を沸かすヒートポンプ式の給湯機です。
大気中の熱を水に伝える役目をする冷媒に自然冷媒（CO_2）を使用しオゾン層の破壊の心配がなく、地球環境に配慮しています。

■お湯を沸かすしくみ お湯を貯めるしくみ

ヒートポンプユニットで水をお湯に沸き上げ、沸き上げたお湯を貯湯ユニットに貯え、そのお湯をシャワーや混合水栓（蛇口）への給湯やおふろの湯はりに利用できるようにした給湯システムです。

■設定温度のお湯が出るしくみ

シャワーや混合水栓（蛇口）おふろ
タンクのお湯と水道からの水を給湯用混合弁で混ぜることで、リモコンで設定された温度のお湯をつくります。

■電力料金契約を選んで更に経済的

この給湯機は、時間帯別電灯型・季節別時間帯別電灯型のいずれかで契約されています。
ご使用の前に必ず契約内容を、お買い上げの販売店または工事店にお問い合わせください。 ➔P.43

契約内容を確認の上、ご使用ください。ご不明の場合は、お買い上げの販売店または工事店にお問い合わせください。

もくじ

ご使用のまえに

各部の名前とはたらき

使いかた

こんなとき

お手入れ

給湯機の設定

お困りのとき・アフターサービスなど

操作早見表

はじめてお使いのときに

- →P.2 **もくじ**
  取扱説明書に何が書いてあるか確認します
- →P.5 **安全上のご注意**
  危害や損害を未然に防ぐための重要事項です
- →P.17 **リモコンの基本操作**
  エコキュートを操作するための基本事項です
- →P.20 **はじめてお使いのときに**
  正しくお使いいただくための確認事項です
- →P.21 **一括設定**
  時刻と電力契約の設定は必ず行いましょう
- →P.4 **エコキュートの上手な使い方**
  上手にお湯を沸かして使いましょう

エコキュートの性能を発揮します

お湯を使うときに

- →P.19 **混合水栓について**
  混合水栓（蛇口）を理解し安全に使いましょう
- →P.23 **お湯を使う**
  便利にお使いいただくためにお読みください
- →P.24 **湯量お知らせの設定**
  便利にお使いいただくためにお読みください
- →P.25 **湯量お知らせのしかた**
  安全にお使いいただくためにお読みください

安全・便利にお湯が使えます

日頃の操作や点検

- →P.47 **日付/時刻の設定**
  時刻が合っていないと電気代が割高になります
- →P.34 **凍結防止について（外気温が低いとき）**
  配管の凍結などトラブルを未然に防ぐために
- →P.35 **数日間お湯を使わないとき**
  エコキュートを休止させ、電気代を節約します
- →P.15 **各部の名称とはたらき**
  ふだん使わない貯湯ユニット周りの名前も理解する
- →P.41 **お手入れと点検**
  日常や、月に1回、半年に1回の手入れと点検
- →P.36 **1か月以上お湯を使用しないとき**
  1か月以上使用しない、汚れた水が入ったときなど

清潔・長持ちで安心です

季節の変わり目など

- →P.21 **一括設定**
  設定内容の確認、変更をする
- →P.31 **使えるお湯の量を確認する**
  残りのお湯の量を確認する
- →P.44 **沸き上げ設定を確認する**
  お湯の沸かしすぎ防止、湯切れ防止ができます

電気代の節約ができます

故障かなと思ったら

- →P.51 **お困りのときは**
  間違った操作がないか事前に確認しましょう
- →P.50 **リモコンに点検表示がでたら**
  リモコンに表示された点検の内容を解説します
- →P.56 **保証とアフターサービス**
  販売店や工事店または、エンジニアリングセンターへ

●メモ（機器の現象を正しく伝えましょう。）

エコキュートの上手な使いかたポイント

より省エネで経済的に
ご使用いただくための
ポイントを紹介します。

■上手にお湯を沸かして使う

エコキュートは、日々のお湯の使用量を自動的に学習してお湯を沸かしますが、リモコンの設定により多めに沸かすことも少なめに沸かすこともできます。ご家庭の使用状況にあわせてお湯を沸かし、上手に使い切ることが省エネのポイントです。

1

- **リモコンに、「おまかせ 節約」が表示されていることを確認してください。「おまかせ 節約」は少なめにお湯を沸かす沸き上げ設定です。** →P.44

2

- **お湯が不足しそうなときは、リモコンの「タンク沸き増し」ボタンを押して必要な湯量を確保してください。** →P.33 **（自動でタンク沸き増しをしたいときは、「湯切れ防止」を設定することができます）** →P.45
  - ・1時間の沸き上げで、約40℃のお湯を約120L（冬季）～約240L（夏季）作ることができます。
  - ・浴そうの湯はりの目安：約180L/回、シャワーの目安：約10L/分です。
  - ・今日使えるお湯の量はリモコンで確認できます。 →P.31

3

- **「おまかせ 節約」でお湯が足りなくなることが頻繁にあった場合は、多めにお湯を沸かす「おまかせ 多め」に沸き上げ設定を変更してください。** →P.44
  - ・水温の変化によりタンク内のお湯の使用量が変わってきます（水温の低い冬季は、お湯の使用量が多くなります）。季節に合わせて、沸き上げ設定を変更することをおすすめします。

4

- 「湯切れ防止」が設定されていると、**湯量お知らせ終了後など、タンクのお湯が少なくなると自動で沸き上げを行いますが、お湯の量が十分で沸き上げを必要としない場合は、リモコンで「湯切れ防止」設定を「切」にしてください。** →P.45

5

- **旅行などで不在となる時には、「使用休止予約」で沸き上げの休止を設定してください。** →P.35
  （1か月以上使用しない場合は運転を止め、機器や配管の水を抜いてください。） →P.36

■上手に付加機能を使う

エコキュートには多くの付加機能があります。上手に使うことが省エネ・省コストのポイントです。

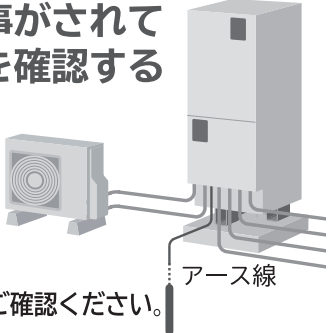
1

- **深夜時間帯前の追加沸き上げを休止させる設定ができます。** →P.45

安全上のご注意（必ずお守りください）

お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを、次のように説明しています。また、本文中の注意事項についてもよくお読みのうえ、正しくお使いください。

■ここに示した注意事項は

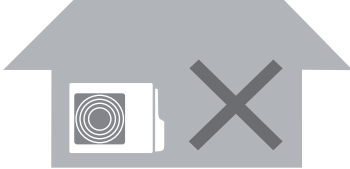
表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害を、次の表示で区分し、説明しています。

危害や損害とその程度の区分	
	この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。
	この表示の欄は、「重傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

絵表示の例	
	「警告や注意を促す」内容のものです。
	してはいけない「禁止」内容のものです。
	実行していただく「指示」内容のものです。

据付け後の確認

⚠警告

アース工事がされていることを確認する

確認

●故障や漏電のときに感電することがあります。
販売店または工事店にご確認ください。

ヒートポンプユニットが屋内に設置されていないことを確認する

禁止

●万一、冷媒（CO2）が漏れると、酸欠により死亡または重傷事故（脳機能障害等）に至ることがあります。

⚠注意

必ず、水道水（水道法に定められた水質基準に適合した飲料水）**を給水する**

確認

●井戸水、温泉水、純水、イオン交換水は使用しないでください。
タンクや配管の腐食、ヒートポンプユニットの熱交換器等がつまるなど故障の原因になります。
販売店または工事店にご確認ください。

⚠注意

確認

据付工事後は、次のことを確認する

■ユニットがアンカーボルトで固定されていることを確認する
- ・貯湯ユニット・・・・・・・・・・・・・・脚：３か所
  転倒防止金具（上部）：１か所
- ・ヒートポンプユニット・・・・・脚：４か所

●固定されていないと地震などにより貯湯ユニット、ヒートポンプユニットが倒れてけがをするおそれがあります。
固定されていない場合は、販売店または工事店にご依頼ください。

■防水処理・排水処理がされていることを確認する

●処理されていないと、水漏れが起きたときに、階下や隣家に大きな損害をおよぼすことがあります。
販売店または工事店にご確認ください。

■太陽熱温水器のお湯が給水管に接続されていないか確認する

●接続されていると故障や誤動作の原因になります。
販売店または工事店にご確認ください。

■凍結防止対策がされていることを確認する ➔P.34

●凍結するとタンクや配管が 破裂し、やけどや水漏れをすること があります。

安全にお使いいただくために(必ずお守りください)

⚠警告

漏電遮断器の動作を確認する

→P.41

動作確認

- 月に１度、動作確認をしてください。
- 故障のまま使用すると、感電することがあります。
- 確認後は操作カバーを閉じてください。開けておくと雨水やゴミ等が入り、漏電や感電をすることがあります。

逃し弁の点検をする

点検

- 年に２～３度、点検をしてください。
- 異常のまま使いつづけると、タンクや配管が破損したり、逃し弁から水漏れしたりすることがあります。
- 確認後は、操作カバーを閉じてください。開けておくとゴミ等が入り、漏電や感電をすることがあります。

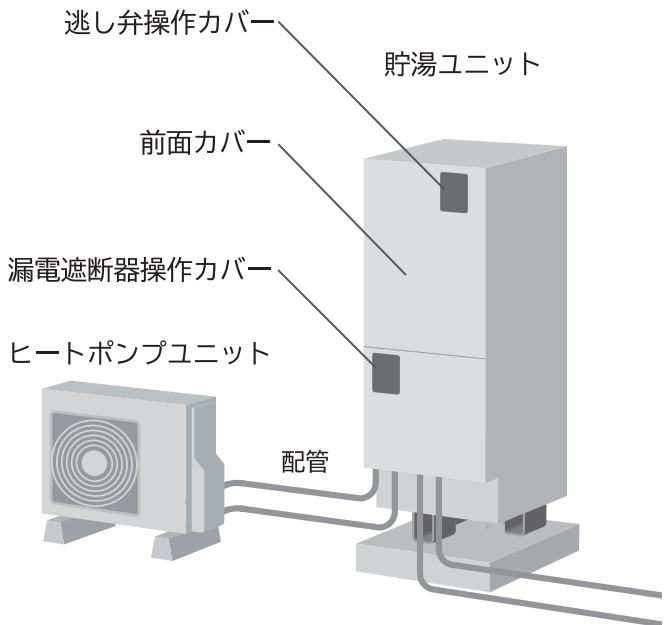
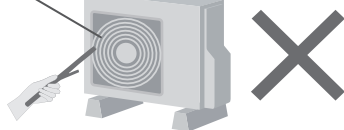
逃し弁

異常(こげ臭いなど)時は、漏電遮断器のスイッチを「OFF」にし、販売店または工事店に連絡する

- 異常のまま使用すると、故障や感電、火災の原因になります。

ヒートポンプユニットのアルミ部分に触ったり、空気吸込口・吹出口に手や棒を入れない

禁止

- けがをすることがあります。

熱湯や熱くなる部分に触れない
(やけどの原因になります)

やけど注意

- **■給湯時の混合水栓(蛇口)は熱くなっているので、ハンドルやレバー以外には手を触れない**
- **■逃し弁点検時には、配管に手を触れない**
  - 配管が高温になっています。
- **■タンクの排水時は、お湯に手を触れない**
  - 高温のお湯が出ることがあります。
- **■貯湯ユニットとヒートポンプユニット間の配管には手を触れない**

子供の入浴には十分注意し、子供だけにしない

やけど注意

- もぐったりしないでください。(髪の毛がふろ循環アダプターにからまったり、吸い込まれたりして危険です)
- 小さい子供だけの入浴はさせないでください。
(ふろ循環アダプターから高温のお湯が出たり、混合水栓は高温になっている部分があり、やけどをすることがあります)

安全にお使いいただくために(必ずお守りください)

⚠警告

やけど注意

お湯の温度を確認してから使用する(やけどの原因になります)

■浴室でのシャワー使用時は、指先などで湯温を確かめる

●シャワー給湯には、サーモスタット付混合水栓をご使用ください。

➔P.19

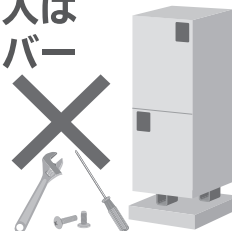
■入浴時は浴そうのお湯の温度を指先などで確かめる

■給湯温度の変更は、ほかの人がお湯を使っていないかを確認してから行う

分解禁止

改造しない 修理技術者以外の人は分解・修理・前面カバーを開けたりしない

●感電、発火や異常動作の原因になります。

禁止

ユニットの近くにガス類や引火物を置かない

●発火や火災になることがあります。

⚠注意

禁止

ユニットに乗ったり、配管に力を加えたりしない

●事故・やけどの原因になります。

浴そうのお湯は口にふくまない

●不衛生ですから、浴そうのお湯は口にふくまないでください。

禁止

ヒートポンプユニットの据付台が傷んだ状態で使用しない

●傷んだ状態で放置すると、ヒートポンプユニットの落下、転倒につながり、けがの原因になることがあります。

積雪時には除雪をする

●ヒートポンプユニットや貯湯ユニットの周囲に積雪すると、性能低下や故障の原因になることがあります。

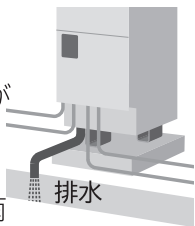
安全にお使いいただくために（必ずお守りください）

⚠注意

電源確認

1か月以上使用しないときは、漏電遮断器の電源スイッチを「OFF」にして、貯湯ユニットとヒートポンプユニットの排水をする

➔P.36

- 排水しないと水質が変化することがあります。
- 排水しないと貯湯ユニットや配管が凍結し、故障の原因になることがあります。
- 漏電遮断器操作後は、操作カバーを閉じてください。開けておくと雨水やゴミ等が入り、漏電や感電することがあります。

冬季、漏電遮断器の電源スイッチを「OFF」にする場合は貯湯ユニットとヒートポンプユニットの水を排水する

➔P.36

- 貯湯ユニット、ヒートポンプユニットが満水のまま、漏電遮断器のスイッチを「OFF」にすると、配管が凍結し、水漏れや故障の原因になります。

満水確認

貯湯ユニットを満水にしてから漏電遮断器のスイッチを「ON」にして電源を入れる

- 貯湯ユニットに水がない状態で電源を入れると、故障の原因になります。

販売店または工事店に確認・ご依頼ください。

やけど注意

貯湯ユニットのお湯を非常用水としてご使用の場合は、湯温を確かめて熱に強い容器を使用する

➔P.39

- ホースから熱いお湯が出ます。やけどに注意してください。ガラス容器などは、熱により割れる場合があります。

禁止

ヒートポンプユニットの周囲に通風の妨げになるものを置かない

- 通風が妨げられると、性能低下や故障の原因になります。

断水時は、シャワーや混合水栓（蛇口）を閉める

➔P.40

- 開けたままにしておくと、再度送水されたときに混合水栓（蛇口）から湯（水）が出ます。

やけど注意

湯水混合水栓は水側から開く

ツーハンドルの場合　シングルレバーの場合

※使用後は湯側から閉める

- まず水側を開いてから湯側を徐々に開いて適温にしてください。湯側だけ開くと、高温の湯が出たり、飛び散ったりする場合があり、非常に危険です。

禁止

そのまま飲用しない

- 長期間のご使用によってタンク内に水アカがたまったり、配管材料の劣化などによって水質が変わることがあります。飲用される場合は、下記の点に注意し、必ず沸騰させてからにしてください。
- 必ず水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水道水を使用してください。
- 熱いお湯が出てくるまでの水（配管にたまっている水）は雑用水としてお使いください。
- 固形物や変色、濁り、異臭があった場合には、飲用せずに、直ちに販売店または工事店へ点検を依頼してください。

ご使用上の注意

■時間帯別電灯契約専用です

●給湯機の性能を最大限に発揮させ、経済的に運転するために、電力会社と時間帯別電灯契約をしてください。

●契約方法は電力会社または、販売店または工事店までご相談ください。 ➔P.43

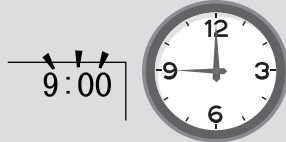
■深夜時間帯のご使用について

●この給湯機は、深夜時間帯にお湯を沸かすのが基本です。
深夜時間帯にお湯を多く使うと、昼間に沸き上げを行い電気料金が高くなる場合があります。

●深夜時間帯は、地域や契約内容によって異なります。 ➔P.43

深夜時間帯
昼間時間帯

■リモコンの表示時刻を確認する

●月に１度は台所リモコンの時刻を確認、修正してください。 ➔P.47

●表示時刻が現在時刻とずれていると、お湯を沸き上げるとき、ずれた分の時間は電気料金の高い昼間電力を使用するため、電気料金が割高になります。

■停電時のご注意 ➔P.40

●停電時は、「給湯」「湯量お知らせ」機能とも使用できません。

■湯はりをするときのお願い ➔P.25

●浴そうに湯はりをするときは、排水栓を必ず閉めてください。

■給湯温度がばらつく場合があります

●水道の圧力が変動したり、給湯流量を変更した場合、給湯温度がばらつく場合があります。

■外気温が低いときは・・・・ ➔P.34

●給湯配管等が凍結することがありますので、適切な凍結防止対策を行ってください。

■お湯を上手に使う

●１日に使用できるお湯の量は限りがあります。お湯の使いすぎに注意してください。

●流しっぱなしで使用せず、こまめに止めましょう。
- シャワーは止めながら
（髪を洗っているときは止めましょう）
- 洗いものをするときも止めながら

■湯量お知らせ中の給湯

●湯量お知らせ中は給湯温度が「湯はり温度」に変わります。他の人がお湯を使っていないかを確認してから運転を行ってください。

■湯量お知らせ中の別の給湯

●湯量お知らせ中に、浴そう以外の混合水栓（蛇口）でお湯を使用すると、浴そうに湯はりできる湯量は、浴そう以外で使用した分だけ少なくなります。

各部の名前とはたらき（リモコン）

台所リモコン

表示画面

タンク湯量ボタン
42℃換算した貯湯タンクの
残湯量を表示します。 ➔P.31

湯量おしらせボタン
「湯はり温度」で設定した温度で
「湯はり湯量」で設定した量だけ
給湯すると、表示画面と音声で
お知らせします。
オートストップタイプでは給湯を
自動で停止します。➔P.24 ➔P.25

湯はり温度ボタン
湯量お知らせで湯はりする
お湯の温度を設定します。 ➔P.24

湯はり湯量ボタン
湯量お知らせで湯はりする
お湯の量を設定します。 ➔P.24

スピーカー

▲ ▼ボタン
メニューの選択や、時間／時刻
などの数値を設定します。

タンク沸き増しボタン
貯湯ユニットのお湯を沸かし
はじめます。 ➔P.33

おしえてボタン ➔P.17
設定の内容などをお知らせ
します。

給湯温度 ▲ ▼ボタン
給湯温度の設定を行います。
➔P.23

メニューボタン
沸き上げ設定などを行います。
➔P.13

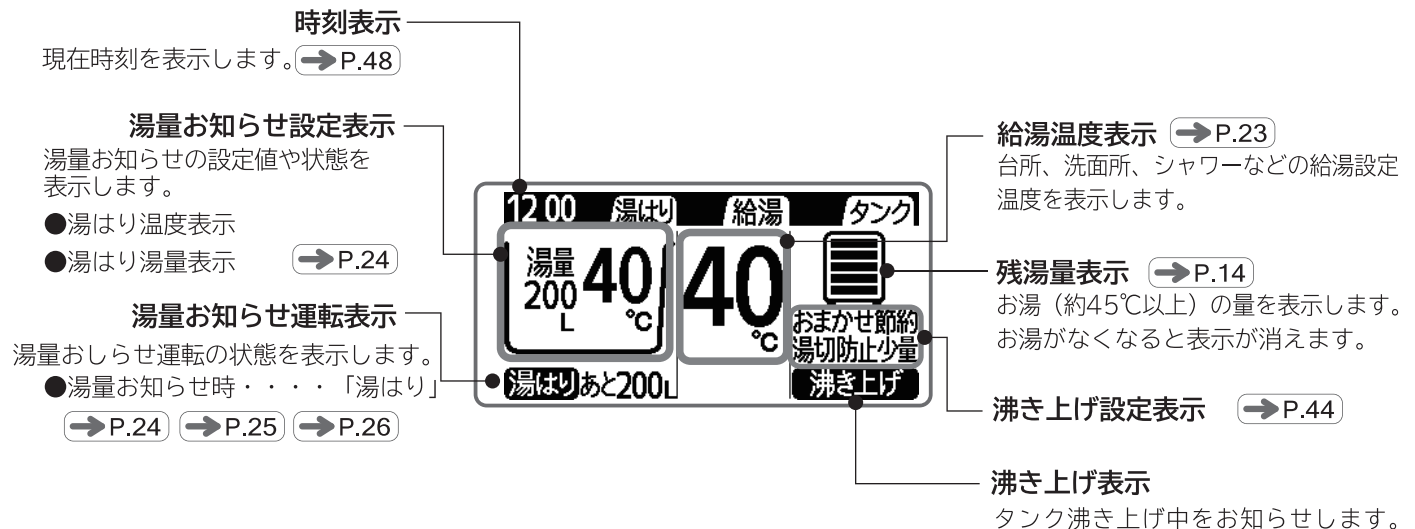
時刻設定
通常：正時設定(０分調整)
３秒押し：時刻設定ができます。
➔P.48

戻るボタン
ひとつ前の画面に戻ります。

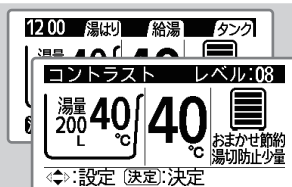
決定ボタン
各種メニューの項目、選択／設定を確定します。

12 00 湯はり 給湯 タンク
湯量 200 L 40℃ 40℃
おまかせ節約 湯切防止少量
湯はり あと200L 沸き上げ
HITACHI
おしえて 節約サポート（3秒押し）
給湯温度
湯量お知らせ タンク湯量 タンク沸き増し
湯はり温度 湯はり湯量 メニュー 時刻設定（3秒押し） 決定 戻る

表示画面

●表示は標準画面例です。状況により、表示内容は異なります。

■画面表示が見にくいとき（コントラストレベル設定）

●リモコンの画面は、見やすいようにコントラストを調整してありますが、リモコンを設置する場所の温度によって薄くなったり、濃くなったりします。薄すぎたり濃すぎたりする場合や、縦線が入っている場合などは、コントラストレベルを設定しなおしてください。

●台所リモコンの画面を見ながら調整してください。

お知らせ

●表示画面のバックライトは、約３０秒以上ボタン操作をしないと自動的に消灯します。再度ボタンを押すと再点灯します。
●時刻表示の「：」はバックライト点灯時は１秒に合わせて点滅していますが、バックライト消灯時は点灯に変わります。

メニュー内容

リモコンのメニュー内容

メニュー項目	設定項目	概要	頁
湯量 お知らせ設定	①湯はり温度設定	湯はり温度を設定します。	➔P.24
	②湯はり湯量設定	湯はり湯量を 40Ｌ～ 540Ｌの間で 10Ｌ刻みで設定します。	
タンク設定	①沸き上げ設定	沸き上げるお湯の量を設定します。	➔P.44
	②湯切れ防止 / 節約設定	タンクのお湯が少なくなってきたら自動で沸き増しをする・しないの設定、「湯切れ防止」を動作させない時間帯を設定します。	➔P.45
	③使用休止予約設定	タンクの沸き上げを休止する日にちを設定します。	➔P.35
	④残湯量確認／使用実績	今日、あとどれくらいお湯が使えるかの目安を表示します。 １週間のお湯の使用実績の変化を表示します。	➔P.32
リモコン設定	①音声ガイド設定	音声ガイドのモードを選択します。	➔P.46
	②ガイド・ブザー音量設定	音声ガイド、ブザーの音量を設定します。	➔P.46
	③日付／時刻設定	現在日付／時刻を合わせます。	➔P.47
その他設定	①電力契約設定	契約されている電力の種類を設定します。	➔P.43
	②一括設定	電力契約設定、沸き上げ設定、湯切れ防止／節約設定、 音声ガイド設定、音声ガイド・ブザー音量設定、 日付／時刻設定を一度に設定します。	➔P.21
	③工場出荷時設定	各設定を工場出荷時の初期状態に戻します。	➔P.49
	④ＨＰエア抜き	ヒートポンプユニットのエア抜き運転を行います。	➔P.38

残湯量の見かた

残湯量のみかた

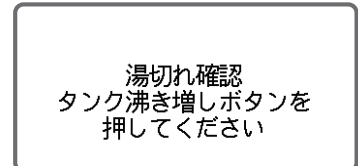
■残湯量表示は…

●タンク内のお湯の量の目安を 5 段階の目盛で表示します。
●目盛は、お湯を使わなくても、自然放熱で少なくなる場合があります。

残湯量表示

■湯切れ注意

●残湯量が少なくなると「湯切れ確認」が、約 10 秒間表示されます。
その後の使用量に応じて「タンク沸き増し」を行ってください。➔P.33

湯切れ確認
タンク沸き増しボタンを
押してください

目盛が少なくなると約 10 秒間表示

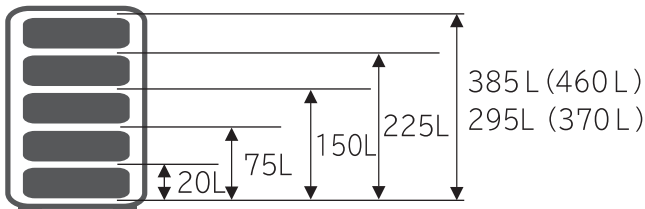
■使えるお湯の量

●タンクには常温（水）から最高 90℃のお湯があり、そのお湯と水を混合させるので、実際にご使用になれるお湯の量と残湯量表示には差があります。平均 42℃に換算した場合の湯量も確認できます。➔P.31

■残湯量目盛の目安

○＝使用できます。　×＝使用できません。

表示	残湯量の目安	使用の目安		「湯切れ防止　少量」を設定していると
		給湯、シャワー	湯はり	
	満タン	○	○	目盛が点灯していてもタンク内のお湯の温度状況により、「沸き上げ」を開始する場合があります。
	225L 以上	○	○	
	150L 以上	○	○	
	75L 以上	○	×	
	75L 未満	○	×	
点滅	20L 未満	×	×	
	0L	×	×	

●残湯量表示とタンク内の湯量イメージ

●型式とタンク容量

形式	タンク容量
BHP-ZA46JU、BHP-Z46JU	460L
BHP-ZA37JU、BHP-Z37JU	370L

お知らせ

●目盛が全て点灯している場合でも、「湯切れ防止」を設定していると「沸き上げ」をする場合があります。
●目盛は約 45℃以上のお湯の量を表示しています。
目盛が表示されていても給湯温度の設定が高い（たとえば 48℃）場合は、その設定より低い温度（たとえば 46℃）のお湯が出ることがあります。
●7 時～ 23 時で目盛が 1 目盛点灯から点滅に変わるとき、「タンクのお湯が少なくなりました」の音声でお知らせします。その後の使用量に応じて「タンク沸き増し」を行ってください。➔P.33
●深夜時間帯の沸き上げ運転中にお湯を使用した場合、満タンまで沸き上げができない場合がありますが、異常ではありません。

ユニット本体

貯湯ユニット

漏電遮断器　操作カバー

スイッチ：
電源を「ON」「OFF」します。

テストボタン：
漏電遮断器が正常に動作するか確認します。

スイッチ
漏電遮断器
テストボタン
ON
OFF
テストボタン

逃し弁　操作カバー

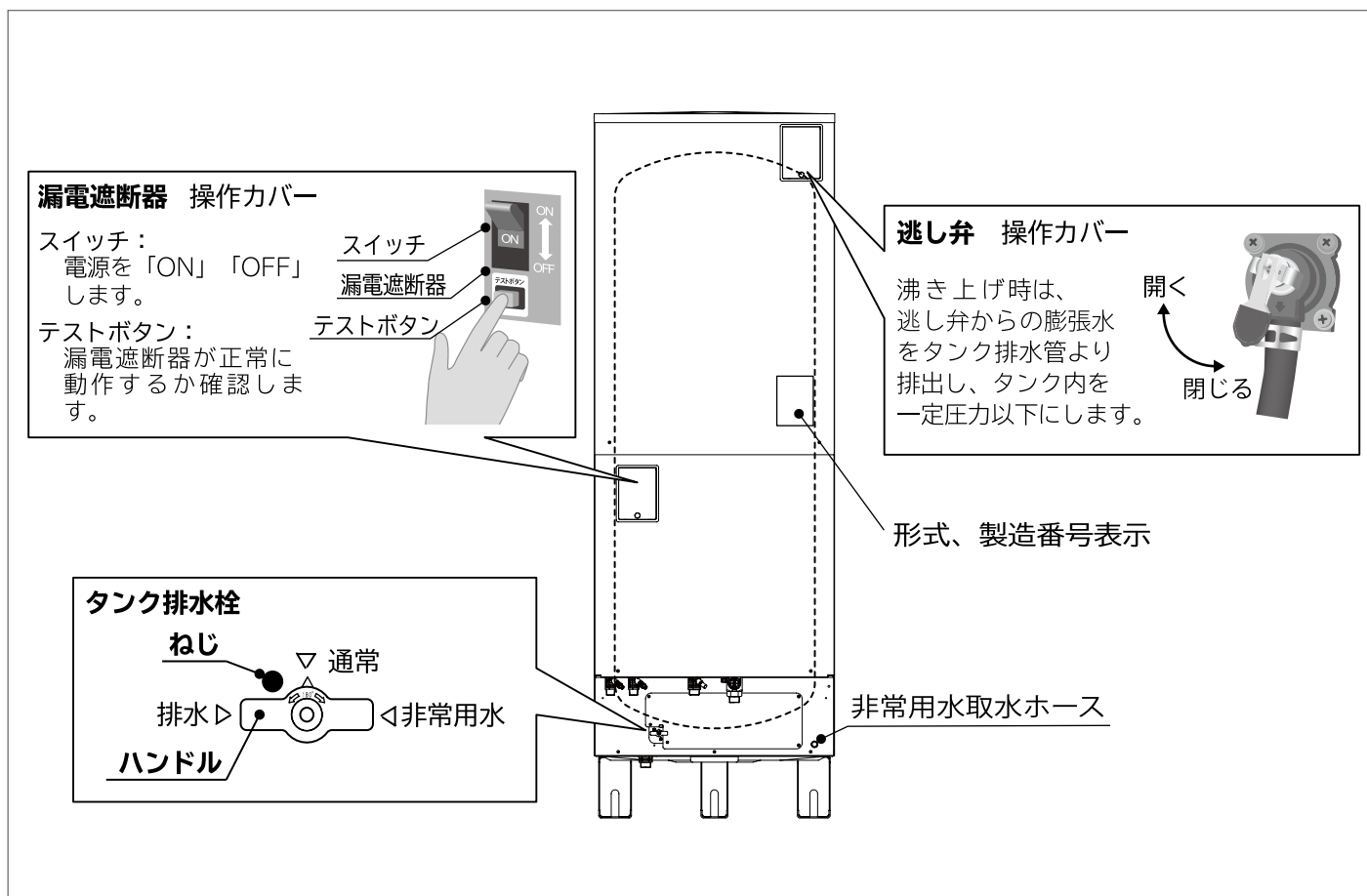
沸き上げ時は、逃し弁からの膨張水をタンク排水管より排出し、タンク内を一定圧力以下にします。

開く
閉じる

形式、製造番号表示

タンク排水栓

ねじ
▽ 通常
排水 ▷
◁非常用水
ハンドル

非常用水取水ホース

ヒートポンプユニット

配管／配線

システム全体の配管例

●貯湯ユニット

●ヒートポンプユニット

ヒートポンプ
配管

サーモスタット式混合水栓(逆止弁付)

浴そう

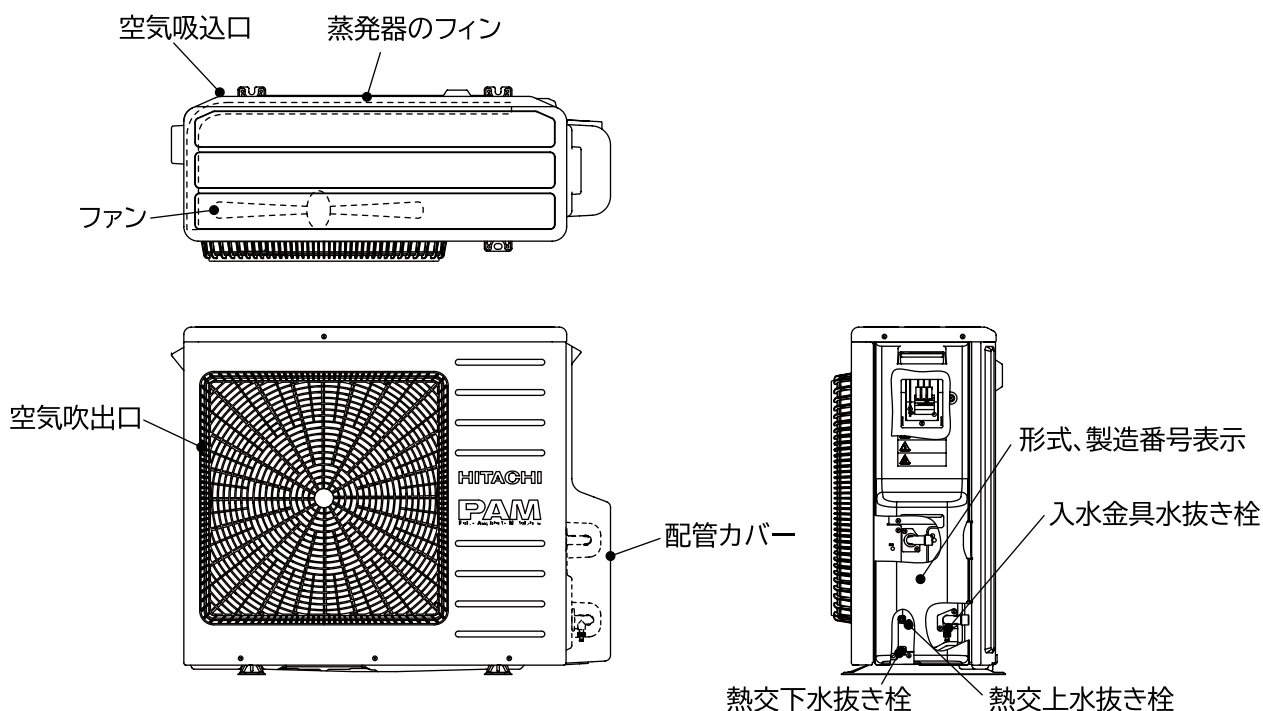
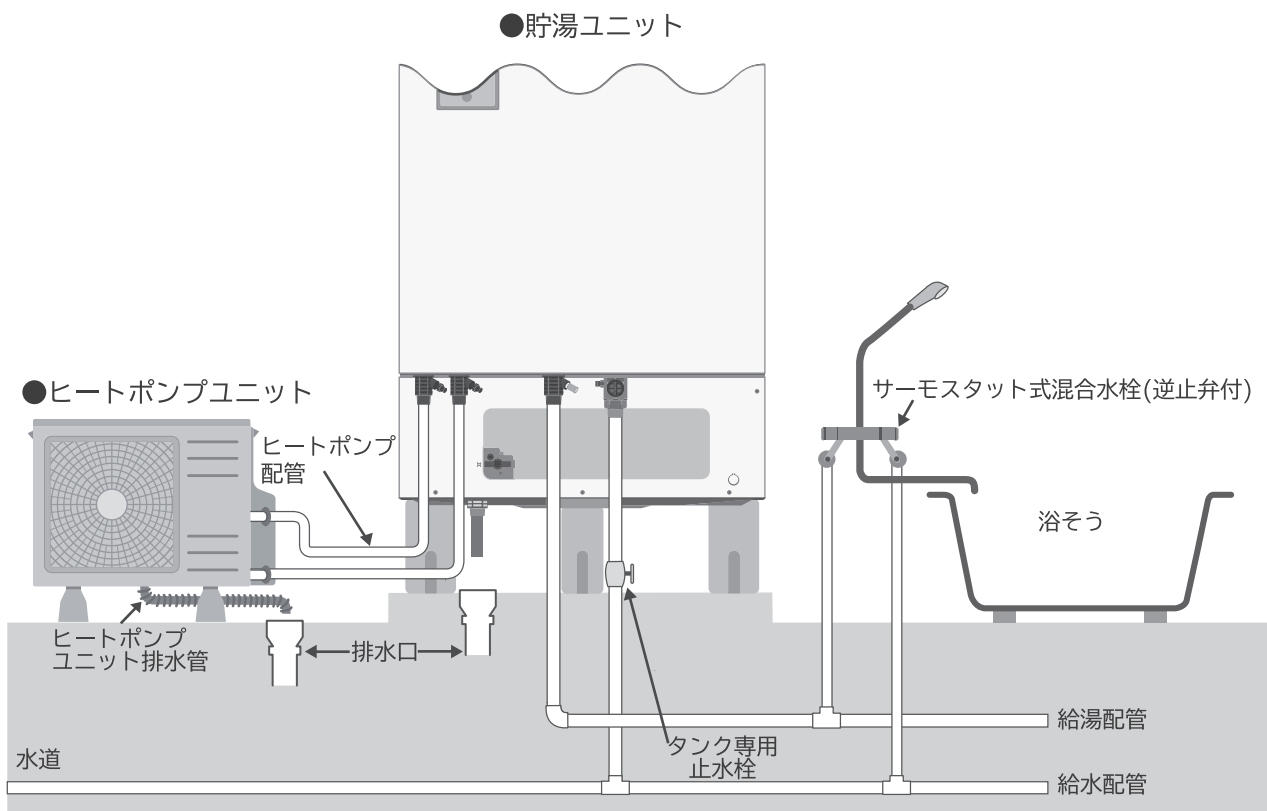
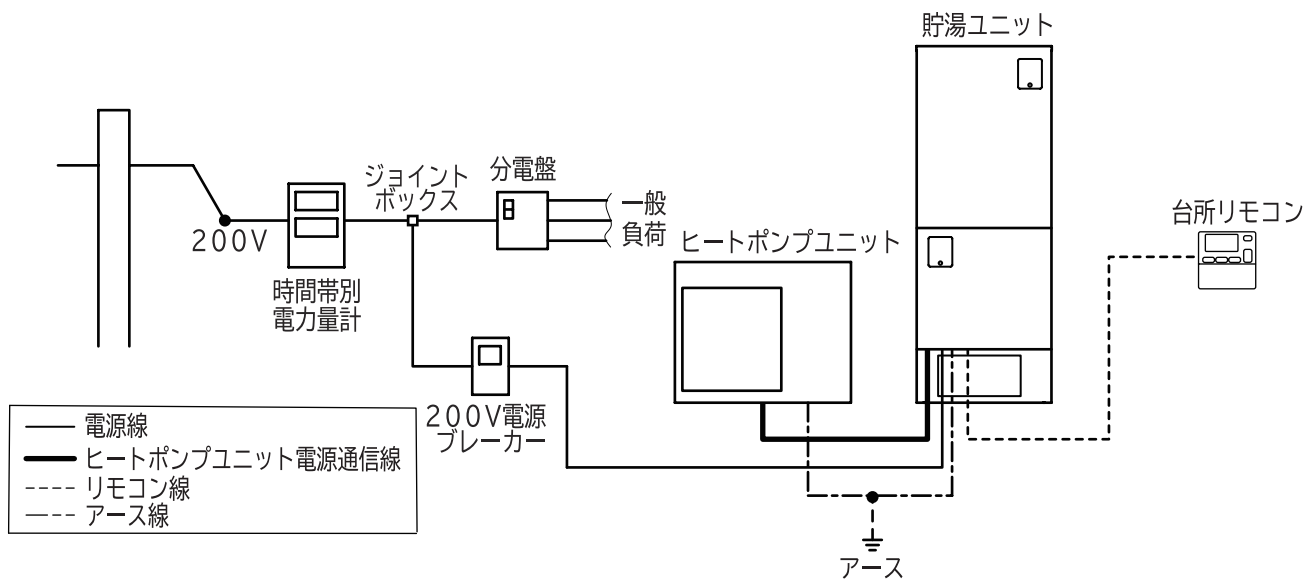
ヒートポンプ
ユニット排水管

排水口

給湯配管

タンク専用
止水栓

水道

給水配管

配線例（時間帯別電灯契約専用）

リモコンの基本操作（ボタン操作とメニュー操作）

台所リモコン

●この取扱説明書で、ボタンを指し示す場合はそのボタンのイラストで説明します。

■「おしえて」ボタン

■「標準画面」で「おしえて」ボタンのランプが消灯しているときに、「おしえて」ボタンを押すと、現在の設定内容と給湯機の動作状態を音声でお知らせします。

●おしらせ内容
設定内容：給湯温度、沸き上げ設定、湯切れ防止設定を「おしえて」ボタンを押すたびに毎回お知らせします。

■リモコン操作中、「おしえて」ボタンのランプが点灯しているときに、「おしえて」ボタンを押すと、操作方法などをお知らせします。操作方法など使い方がわからない時にお役立てください。

■ボタン操作

■リモコンのボタンは、機能を実行するためのボタンと、設定を行うためのボタン、リモコン操作に必要なボタンがあります。

●機能を実行するボタン

湯量お知らせ　タンク湯量　タンク沸き増し

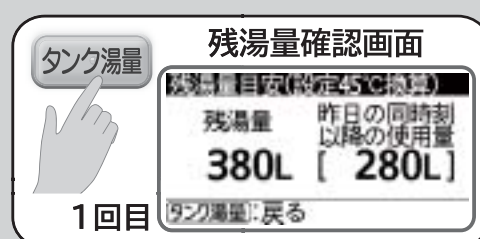
１回押すと実行され、実行中にもう一度押すと中止します。
例えば、「タンク湯量」を押すと、「残湯量確認」画面を表示します。
「タンク湯量」もう一度押すと標準画面を表示します。

●設定を行うためのボタン

湯はり温度　湯はり湯量　時刻設定（3秒押し）

１回押すと設定画面に切り替わり、設定操作が行えます。「決定」を押すと終了します。

●操作に必要なボタン

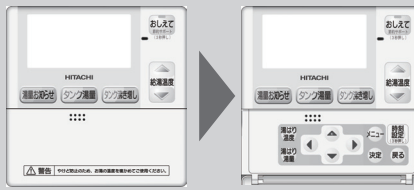
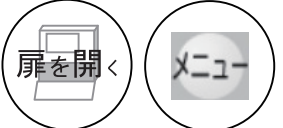
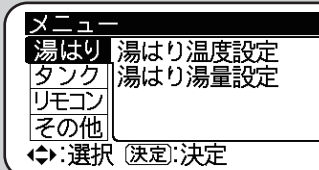
設定温度を上下させたり、項目を選択する場合に使用します。

■メニュー操作

■機能の実行や設定を行うには、ボタン操作のほかにメニュー一覧から選択する方法があります。
「ガイド・ブザー音量設定」を例に説明します。

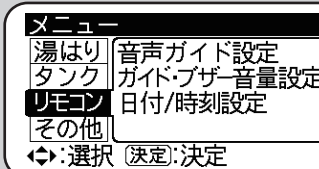
リモコンの扉を開きます。

扉の左右にある切りかきに指を添え、手前に引きながら下方に開きます。

メニュー を押し、メニュー画面を表示させます。

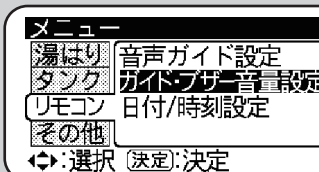
メニュー
湯はり　湯はり温度設定
タンク　湯はり湯量設定
リモコン
その他
◁⇕▷:選択 決定:決定

これ以降、メニュー画面を表示させる操作は

マークであらわします。

1 扉内の ▲ ▼ で「リモコン」を選択し、決定 を押す。

●反転表示が右側に移動します。

メニュー
湯はり　音声ガイド設定
タンク　ガイド・ブザー音量設定
リモコン　日付/時刻設定
その他
◁⇕▷:選択 決定:決定

決定 の代わりに を押しても、反転表示が右側に移動します。

2 ▲ ▼ で「ガイド・ブザー音量設定」を選択し 決定 を押す。

●ガイド・ブザー音量の設定画面になります。

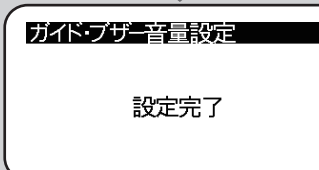
メニュー
湯はり　音声ガイド設定
タンク　ガイド・ブザー音量設定
リモコン　日付/時刻設定
その他
◁⇕▷:選択 決定:決定

戻る または を押すと、反転表示を左側に戻すことができます。

3 ▲ ▼ で「音量」を合わせ、 決定 を押す。

●「設定完了」画面になります。

ガイド・ブザー音量設定
◁⇕▷:設定 決定:決定

ガイド・ブザー音量設定
設定完了

12:00 湯はり 給湯 タンク
湯量 200 L 40 ℃ 40 ℃ おまかせ節約 湯切防止少量

「標準画面」

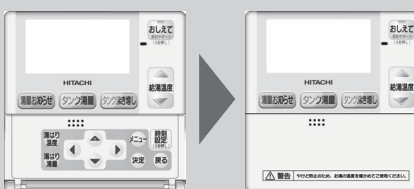
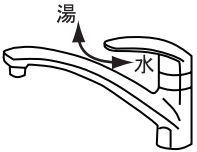
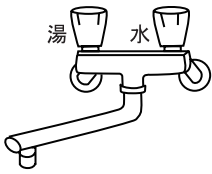
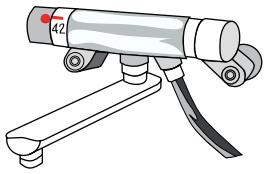
戻る を押すとメニュー一覧の画面に戻ることができます。

操作途中で を押すと、

 の変更をキャンセルして「標準画面」に戻ります。

メニュー を押すと3秒待たずに「標準画面」に戻ります。

4 扉を閉めます。

ご注意

扉を開閉するときは、リモコン本体と扉の隙間に指を挟まないようにご注意ください。特に小さいお子様には十分ご注意ください。

混合水栓（蛇口）について

■混合水栓（蛇口）の種類

●給湯機を安全、便利にご使用いただくためには、各給湯個所に取り付ける混合水栓（蛇口）も大切な役割があります。
ご家庭で一般的にお使いになる混合水栓には下表のような種類があります。特徴をよく理解し安全に使用してください。

	シングルレバー	ツーハンドル	サーモスタット付
外観	湯 水	湯 水	42
概要	レバーを左右に操作して温度調節を、レバーを上下に操作して流量を調節します。	お湯側、水側それぞれのハンドルを操作してお湯の温度や流量を調節します。	混合水栓部で温度の設定ができます。シングルレバー、ツーハンドルに比べ温度の変化が少なくなります。

●シングルレバーの混合水栓は、出湯、停止、温度や流量の調節が簡単にできるので、台所やシャンプー機能のない洗面所に向いています。

●サーモスタット付混合水栓は、おふろやシャンプー機能付の洗面台で使用されています。サーモスタット付混合水栓は、出湯温度が安定しやすく、より安全にお湯をご使用いただけます。シャワーはお湯を直接、からだや頭にかけますので、誤って熱い湯が出ると大変危険です。サーモスタット付混合水栓のご使用ください。

お知らせ

サーモスタット付混合水栓を使用する場合はリモコンの給湯温度を混合水栓の設定温度より約 10℃高くしてください。低いと混合水栓で設定した湯温にならないことがあります。

■混合水栓（蛇口）の上手な使い方

レバー、ハンドルの開閉は水側からゆっくりと

●給湯温度が変更されている場合もあります。混合水栓を開く時は、水側から開き湯温を確かめながらお湯を出します。

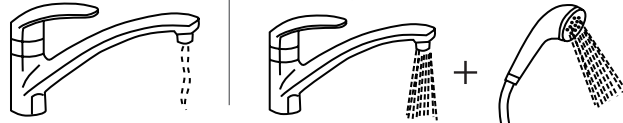
●給湯中に設定温度を変えたり、給湯量（混合水栓の開き具合）を変えたときや、一旦給湯を止めたあと短時間の内に再度使用する場合、設定温度になるまでにしばらく時間がかかります。

適度な流量で使用する

●流量が少ないと

流量が極端に少ないと温度が不安定になったり、水が出たりします。

●流量が多いと

一度に大量にお湯を出したり、シャワーと台所などを同時に使用すると温度が低くなることがあります。
その場合は混合水栓を少し閉めてください。

＋
⚠警告

給湯時は混合水栓のレバーやハンドル以外に手をふれない

やけど注意

●高温の湯の使用時および使用直後は混合水栓が熱くなっています。
やけどにご注意ください。

⚠注意

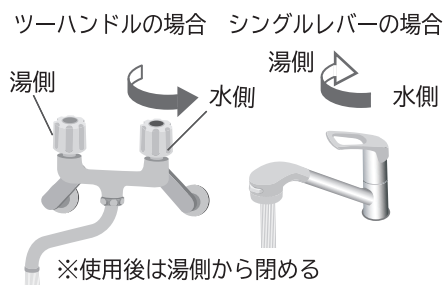
湯水混合水栓は水側から開く

やけど注意

ツーハンドルの場合　シングルレバーの場合

湯側　水側　湯側　水側

●まず水側を開いてから湯側を徐々に開いて適温にしてください。
湯側だけ開くと、高温の湯が出たり、飛び散ったりする場合があり、非常に危険です。

※使用後は湯側から閉める

はじめてお使いのときの確認

1 使用できる状態かを確認します。

1 貯湯ユニットのタンク専用止水栓は「開」になっていますか？ ➔P.16

2 200V電源ブレーカーの電源スイッチは「ON」になっていますか？ ➔P.16

3 貯湯ユニットの漏電遮断器のスイッチは「ON」になっていますか？ ➔P.15

2 台所リモコンの表示画面のバックライトは点灯していますか？

●何も表示していない場合は、お買い上げの販売店または工事店にご確認ください。

●表示画面が見にくい場合は、コントラスト設定をしてください。 ➔P.12

3 表示時刻は合っていますか？

●合っていなければ「一括設定」で時刻のほか、必要項目のすべてを確認・設定してください。➔P.21

●「一括設定」ができたら 4 に進みます。

4 残湯量の目盛を確認します。

●目盛が より多い場合は、お湯を使うことができます。 ※残湯量の見かた。 ➔P.14

●目盛が ような場合は、次の確認をしてください。

A 「沸き増し」が表示されている場合

● が表示されるまでお待ちください。
（約60分～120分）

B 「沸き増し」が表示されていない場合

● ボタンを押す。

が表示されたらお湯を使うことができます。

※残湯量の見かた。➔P.14

お願い

●タンク専用止水栓が「閉」になっている場合や、電源が「OFF」になっている場合は、お買い上げの販売店または工事店に「電源を「ON」にすれば使用できるか。」「タンク専用止水栓を「開」にすれば使用できるか。」をお問い合わせいただき、使用できることを確認してください。

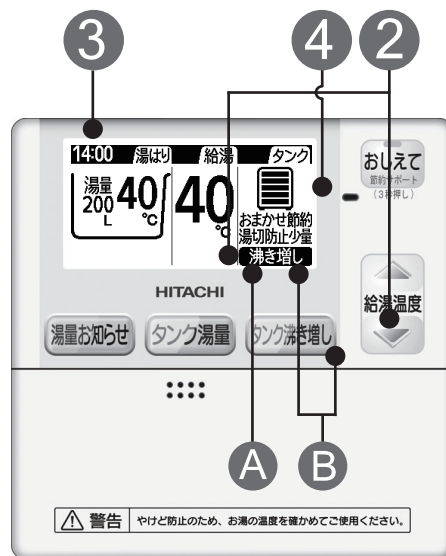
●使用できない場合は、お買い上げの販売店または工事店に作業をご依頼ください。
※作業は有償になることがあります。

表示画面について

台所リモコンは、約30秒以上ボタン操作をしないと自動的にバックライトが消えます。再度ボタンを押すことで、バックライトが再点灯します。

ご注意 時刻表示について

表示時刻が現在時刻と合っていないと、電気料金が割高になる場合があります。確認をお願いします。

台所リモコン

音声ガイドについて

音声ガイドは、「しんせつ」「標準」「切」の３つのモードがあり、モードにより音声ガイドの内容が異なります。
本説明書は「しんせつ」モードで説明しています。 ➔P.46

一括設定（使い始めに必要な設定を一括で行います）

■現在時刻・日付、電力契約の種類など、使いはじめに必要な設定を一括で設定します。

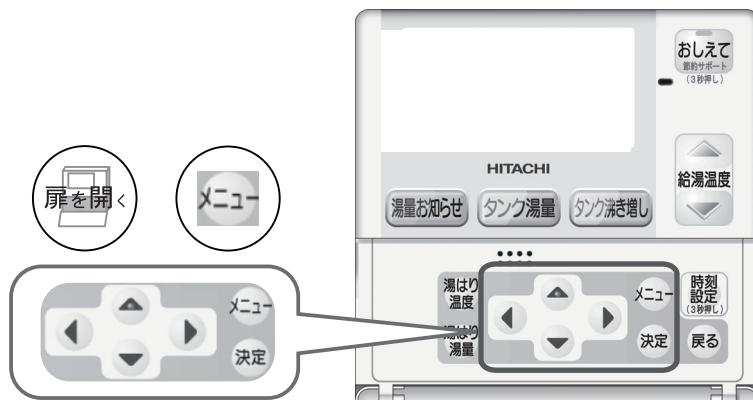
●このページでは、「一括設定」で行う各設定の流れを説明します。各設定の詳細説明は、それぞれの説明ページをご覧ください。

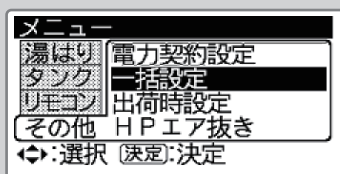
●設定項目

①電力契約設定　②沸き上げ設定
③湯切れ防止設定　④節約設定
⑤音声ガイド　⑥ガイド・ブザー音量
⑦日付設定　⑧時刻設定

●その他の設定について

給湯温度や湯はりの設定は、給湯機をお使いになりながら、適切な設定を行ってください。

台所リモコン

で「その他」「一括設定」を選択し、決定を押す。

●「電力契約設定」の入力画面になります。

1

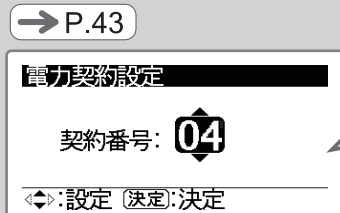
で「契約番号」をあわせ、決定を押す。

●「沸き上げ設定」の入力画面になります。

→P.43

電力契約設定

契約番号: 04

:設定 決定:決定

●電力会社との契約内容にあった番号を入力してください。正しく設定されていない場合、電力料金が割高になる場合があります。設定する番号は当社固有の番号です。

2

で「沸き上げモード」を選択し、決定を押す。

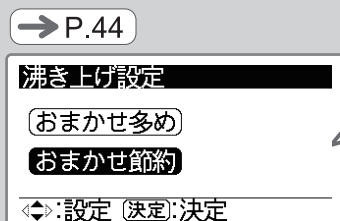
●「湯切れ防止」の入力画面になります。

→P.44

沸き上げ設定

おまかせ多め

おまかせ節約

:設定 決定:決定

●タンクに沸き上げるお湯の設定です。

●お使いはじめは「おまかせ節約」に設定し、しばらくの間ご使用ください。前日までの7日間の使用量を学習しながら、適切なお湯の量を自動で沸き上げます。頻繁にお湯が不足する場合は「おまかせ多め」に変更してください。

3

で「沸き上げ量」を選択し、決定を押す。

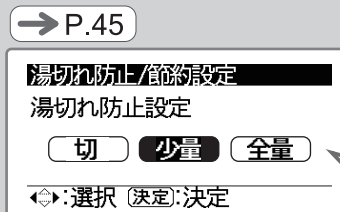
●「節約設定」の入力画面になります。

→P.45

湯切れ防止/節約設定

湯切れ防止設定

切　少量　全量

:選択 決定:決定

●お湯が少なくなった場合に昼間沸き上げるお湯の量を設定します。

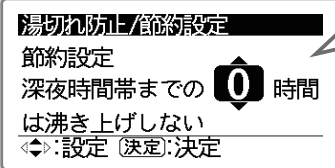
●使用状況により「沸き上げ設定」とあわせて設定内容を見直してください。

で「時間」を設定し、

決定 を押す。

●「音声ガイド設定」の入力画面になります。

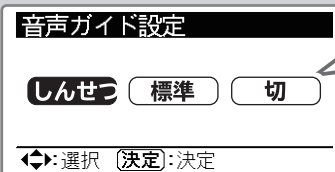
→P.45

湯切れ防止/節約設定
節約設定
深夜時間帯までの 0 時間
は沸き上げしない
◁▷:設定 決定:決定

●深夜時間帯に入る前にお湯をあまり使わない場合は、節約のため「沸き上げしない時間」を設定します。
●深夜時間帯直前もお湯を使う場合は、０時間に設定してください。

で「音声ガイド」をあわせ、決定 を押す。

●「ガイド・ブザー音量設定」の入力画面になります。

→P.46

音声ガイド設定
しんせつ 標準 切
◁▷:選択 決定:決定

●「しんせつ」に設定すると、給湯機の動作状態やリモコンの操作方法をお知らせします。
●お使いはじめは「しんせつ」に設定していただくと便利です。

で「ガイド・ブザー音量」をあわせ、決定 を押す。

●「日付設定」の入力画面になります。

→P.46

ガイド・ブザー音量設定

◁▷:設定 決定:決定

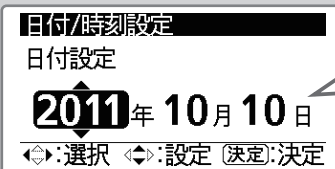
●選択した音量にあわせて「音量〇〇です」とお知らせしますので、聞き取りやすい音量に設定してください。

で「年」「月」「日」を選択

で数値をあわせ、決定 を押す。

●「時刻設定」の入力画面になります。

→P.47

日付/時刻設定
日付設定
2011年 10月 10日
◁▷:選択 ◁▷:設定 決定:決定

●今日の年月日を合わせてください。

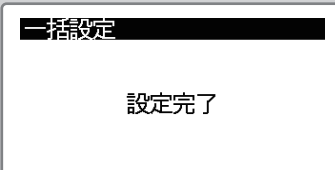
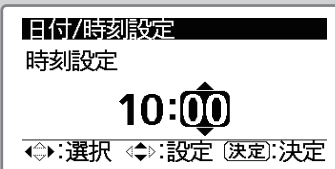
で「時」「分」を選択

で数値をあわせ、決定 を押す。

●「設定完了」画面が表示されます。
●自動で「標準画面」に戻ります。

→P.48

日付/時刻設定
時刻設定
10:00
◁▷:選択 ◁▷:設定 決定:決定

一括設定
設定完了

お知らせ

●給湯温度や湯はりの設定は、給湯機をお使いになりながら適切な設定を行ってください。

「給湯」を使う

■台所・洗面所で混合水栓（蛇口）でお湯を使う

1 「給湯温度」表示を確認する。

●適温であれば、3 に進みます。
●温度を変更する場合は、2 へ進みます。

2 「給湯温度」を押し、適切な温度に設定する。

●温度表示は、下に示したように設定できます。

（水温）　（1℃刻み）

（さらに製品の設定を変更した場合のみ）高温

3 混合水栓（蛇口）を開く。

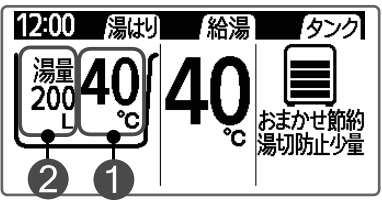
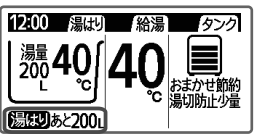
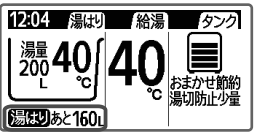
●水側を開いてから、湯側を徐々に開いて適温にします。湯側から開くと急に熱いお湯がでたり、飛び散ることがあります。
●シャワー使用時には、指先などで湯温を確かめてからご使用ください。

ツーハンドルの場合　シングルレバーの場合
湯側　水側　湯側　水側
※使用後は湯側から閉める

台所リモコン

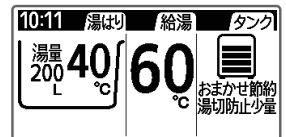
給湯温度
おしえて
HITACHI
湯量お知らせ　タンク湯量　タンク沸き増し
湯はり温度
湯はり
決定
戻る

⚠注意

給湯温度を「高温」に設定するときは、やけど防止のため特に下記の点にご注意ください

●混合水栓(蛇口)は、必ずサーモスタット付混合水栓 (現地準備品)を使用してください。
●シャワー使用時や入浴時は、高温の湯が出るおそれがあるため、必ず湯温を指先などで確かめてください。
●小さいお子様や高齢者の方が使用されるご家庭では、危険ですので「高温」設定にはしないでください。
●「高温」設定でお湯を使用したあとは、リモコンで給湯温度を下げたあとも配管内に残った高温のお湯が出るおそれがありますので、やけどにご注意ください。
（例えば「高温」設定で浴そうにさし湯をしたあとにシャワーを使用する場合など、給湯温度を下げても配管内に残った高温のお湯が出るおそれがあります。）

■50℃・55℃・60℃に設定した場合

●やけどに注意していただくため、下のような音声でお知らせします。

音声　給湯温度を設定しました。熱いお湯が出ます。ご注意ください。

■「高温」に設定した場合

●工場出荷の設定では「高温」はご利用いただけません。
●「高温」ではタンク内湯温に近い(60℃以上の)高温水が給湯されるため、ご使用には特に注意が必要です。

音声　給湯温度を設定しました。熱いお湯が出ます。ご注意ください。

お知らせ

●お湯の使い始めは配管に残った水が出るため、混合水栓（蛇口）を開いてからお湯が出るまでに時間がかかる場合があります。
●給湯温度を変更するとき、35℃～48℃の範囲では「▲」「▼」ボタンを押し続けると設定温度が連続して変わります。50℃、55℃、60℃、高温、および低温に変更する場合は「▲」「▼」ボタンをくりかえして押してください。
●「高温」に設定（60℃以上の高温水を使用)する場合は製品の設定変更が必要です。お買い求めの販売店にご相談ください。

湯量お知らせ(ふろの湯はり)の設定

■「湯量お知らせ運転」を行う前に「湯はり温度」「湯はり湯量」の設定を行います。
■「湯はり温度」「湯はり湯量」は、メニュー画面からも変更を行うことができます。

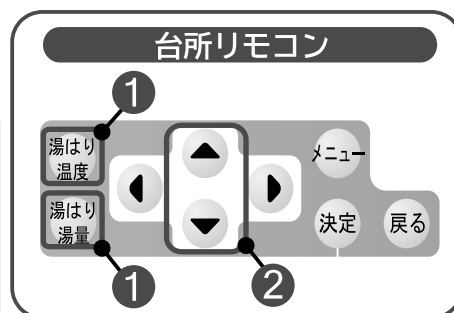
手　順			頁
準備	「湯量お知らせ設定」を確認します。	① 湯はり温度の確認 ② 湯はり湯量の確認	➔P.24（下記）
	浴そうを確認します。	●浴そうの排水栓をします	
ふろ湯はり	湯量お知らせ開始	湯量お知らせ を押す。 ●混合水栓（蛇口）を開くと給湯を開始します。 ●リモコン表示部が通常画面に戻り、湯はり湯量の残りを表示します。	➔P.25 ➔P.26
	湯量お知らせ中	●リモコンに「湯はり」が点灯 ●リモコン表示部に、湯はり湯量の残りをカウントダウンします。 ※湯はり中は熱い湯が出ることがあるため入浴しないでください	
	湯量お知らせ完了	●湯はり完了をリモコンの表示と音声でお知らせします。 ●オートストップタイプでは、給湯を自動（オート）で停止（ストップ）します。 ※ふろの湯かげんを確認してから入浴してください	

■「湯はり温度」を設定する（扉を開く）

1 湯はり温度 を押す。

●「ふろ温度」が反転表示します。

2 ▲▼ で設定する。

●数秒後、「湯はり温度」反転表示が解除されます。
※変更しない場合は、そのまま「決定」ボタンを押してください。

●設定できる温度範囲は、次の通りです。
・低温（水温）
・35℃･･･48℃(1℃刻み)

■「湯はり湯量」を設定する（扉を開く）

1 湯はり湯量 を押す。

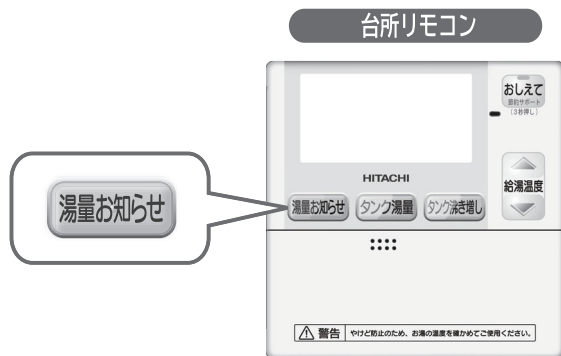
●「湯量」が反転表示します。

2 ▲▼ で設定する。

●数秒後、「湯はり湯量」反転表示が解除されます。
※変更しない場合は、そのまま「決定」ボタンを押してください。

●設定できる湯量範囲は、次の通りです。
40Ｌ･･･540Ｌ(10Ｌ刻み)

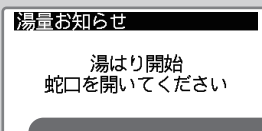
湯量お知らせ運転（ふろの湯はり）

●「湯量お知らせ」ボタンを押して混合水栓（蛇口）を開くと、あらかじめ設定した「湯はり温度」で給湯を開始します。
設定した「湯はり湯量」を給湯すると音声と文字で湯はり終了をお知らせします。

浴そうの準備

浴そうの排水栓を閉じる。

湯はりの準備

［湯量お知らせ］を押す。

湯量お知らせ
湯はり開始
蛇口を開いてください

音声 給湯温度を・・ 蛇口を開いてください。

湯はり開始

混合水栓(蛇口)を開く。

●混合水栓（蛇口）を開くと給湯を開始します。
●リモコン表示部が標準画面に戻り設定給湯量の残りを表示します。

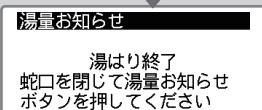
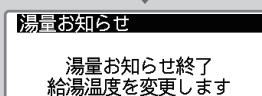
12:00 湯はり 給湯 タンク
湯量 200 L 40℃ 40℃ おまかせ節約 湯切防止少量
湯はり あと200L

湯はり終了

●各混合水栓（蛇口）で使用したお湯の合計が設定湯量になると、文字と音声でお知らせします。

混合水栓(蛇口)を閉じる。

●すべての混合水栓（蛇口）を閉めてください。サーモスタット式の混合水栓（蛇口）の場合は、設定温度を元に戻してください。

［湯量お知らせ］を押す。

●標準画面に戻ります。

ご注意 湯はり温度について

●サーモスタット式の混合水栓（蛇口）をご使用の場合は、混合水栓（蛇口）の設定温度を湯はり温度より高めに設定してください。湯はり温度より低いと水が混じるため給湯量が湯はり湯量より多くなります。

ご注意 湯量お知らせ終了について

●BHP-ZA46JU，BHP-ZA37JU（オートストップタイプ）は、設定湯量を給湯するとすべての混合水栓（蛇口）での給湯を停止します。すべての混合水栓（蛇口）を閉じて〔湯量お知らせ〕ボタンを押すと給湯温度で給湯できるようになります。混合水栓（蛇口）の構造によっては、自動停止のあと混合水栓（蛇口）を閉めるまでの間に少量の水が出る場合があります。

●BHP-Z46JU，BHP-Z37JU（標準タイプ）では、給湯は自動で停止しません。混合水栓（蛇口）を閉めて「湯量お知らせ」ボタンを押してください。

⚠注意

やけどにご注意ください

お知らせ **湯量お知らせ中の給湯温度について**

●湯量お知らせ運転を開始すると、すべての混合水栓（蛇口）の温度が「湯量お知らせ」で設定した湯はり温度に変わります。湯はり温度を高めに設定している場合は、他の人がお湯を使用中でないか確かめて運転を開始してください。

給湯温度が変わります

●湯量お知らせ運転中、給湯温度の変更はできません。

ご注意 **湯量お知らせ終了後の給湯温度について**

●湯量お知らせ運転を終了すると、すべての混合水栓（蛇口）の温度が給湯温度に変わります。給湯温度を高く（例えば60℃）設定している場合は、他の人がお湯を使用中でないか確かめて湯量お知らせ運転を終了してください。

給湯温度が変わります

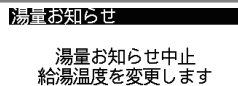
途中でとめたいとき

混合水栓(蛇口)を閉じる。

湯量お知らせ を押す。

●すべての混合水栓（蛇口）を閉じて「湯量お知らせ」ボタンを押します。ランプが消灯し湯量お知らせ運転が停止します。

湯量お知らせ

湯量お知らせ中止
給湯温度を変更します

音声 湯量お知らせを中止します。給湯温度を・・・に変更します。

タンクの残湯量が少ないとき

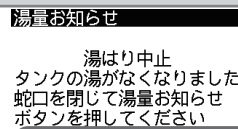
●BHP-Z46JU，BHP-Z37JU（標準タイプ）では、タンク残り湯が少なくなると文字と音声でお知らせします。

混合水栓(蛇口)を閉じる。

湯量お知らせ を押す。

●すべての混合水栓（蛇口）を閉じて「湯量お知らせ」ボタンを押します。ランプが消灯し湯量お知らせ運転が停止します。

湯量お知らせ

湯はり中止
タンクの湯がなくなりました
蛇口を閉じて湯量お知らせ
ボタンを押してください

音声 タンクのお湯が・・・蛇口を閉じて湯量お知らせボタンを・・・

お知らせ

●BHP-ZA46JU，BHP-ZA37JU（オートストップタイプ）ではタンクのお湯をすべて使いきるまで運転を続けます。「湯量お知らせ」の途中でタンクのお湯がなくなると自動で給湯を停止して「湯量お知らせ中止」をお知らせします。

●混合水栓（蛇口）を閉じ、湯量お知らせ を押すまでの間、以下の音声を出します。

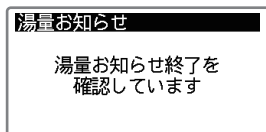
音声 蛇口を閉じて湯量お知らせボタンを押してください。

オートストップタイプ：1分ごと
標準タイプ：20秒ごと

ご注意 **BHP-ZA46JU，BHP-ZA37JU をご使用の場合**

●BHP-ZA46JU，BHP-ZA37JU（オートストップタイプ）では、湯量お知らせ運転を終了させるために「湯量お知らせ」ボタンを押すと、しばらくの間、右図を表示して、すべての混合水栓（蛇口）が閉まっているかを確認中であることをお知らせします。標準画面に戻るまですべての混合水栓（蛇口）は閉じておいてください。

湯量お知らせ

湯量お知らせ終了を
確認しています

お知らせ

●「湯量お知らせ」ボタンを押さずに混合水栓を開けても湯はりはできますが、湯はり終了のお知らせはありません。また、この場合は給湯設定温度で湯はりするため、給湯温度を「高温」に設定している場合はご注意ください。
●BHP-ZA46JU，BHP-ZA37JU では、湯量お知らせ運転中、他の機器でお湯が使用できないことがあります。

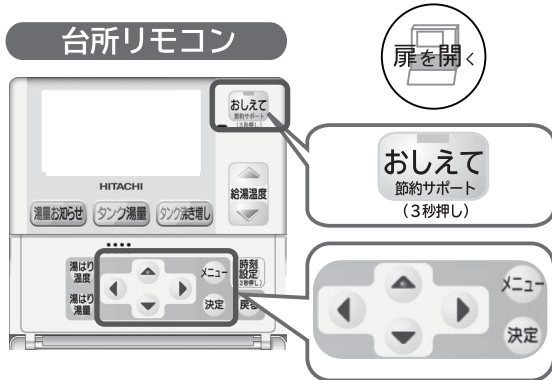
便利な機能

■節約サポートメニューの設定

■使用湯量目安 / 残湯量目安

いつもに比べてお湯を使いすぎていないか、いつものペースでお湯を使うと不足しないかを調べることができます。

台所リモコン

扉を開く

1 おしえて節約サポート を画面が変わるまで押し続ける。

▲▼で、「使用湯量目安/残湯量目安」を選択し、決定 を押す。

●「使用湯量目安」画面になります。

節約サポートメニュー
使用湯量目安/残湯量目安
おすすめ設定
シャワーアラーム
上手な使いかた
◇:選択 決定:決定

2 使用湯量を確認します。

●使用湯量目安は、表示した時刻までに使ったお湯の量を、給湯設定温度に換算し、本日、昨日、週平均（昨日までの 6 日間の平均）を〔リットル〕で表示します。また、昨日と週平均は、1 日分についても合わせて表示します。

確認後、決定 を押す。

●「残湯量目安」画面になります。

使用湯量目安(設定40℃換算)

	15:23	1日分
本日	290L	–
昨日	480L	800L
週平均	500L	850L

決定:決定

3 残湯量を確認します。

●残湯量目安は、給湯設定温度に換算した、今後使えるお湯の量の目安です。現在の残湯量と昨日の表示した時刻以降に使用した湯量を〔リットル〕で表示します。

確認後、決定 を押す。

●「使用湯量確認」画面になります。

残湯量目安(設定40℃換算)
残湯量 520L
昨日の同時刻以降の使用量 [320L]
決定:決定

●昨日の同時刻以降の使用量を考慮して、使えるお湯の量が少ない場合は、「タンク沸き増し」ボタンを押してください。 ➔P.33

4 昨日までの7日間のタンクのお湯の使用実績をグラフで確認します。

確認後、決定 を押す。

●「標準画面」に戻ります。

●昨日までの 7 日間のタンクのお湯の使用実績は、お湯の使用量の目安を 42℃換算した湯量で表示しています。

お知らせ

●「使用湯量目安」「残湯量目安」の表示される数値は、目安です。10L 単位で表示します。
●「使用湯量目安」は、給湯で実際に使用した湯量の合計を給湯設定温度に換算して表示します。
●「使用湯量目安」は貯湯ユニットから出た湯量を表示します。混合水栓の「水側」の水量は、使用湯量に含まれません。
●「使用湯量目安」の 1 日分は、0 時 00 分から 23 時 59 分までの数値になります。
●本日は、0 時 00 分に 0 L になります。
●タンクのお湯と水から給湯設定温度または 42℃換算とするため、タンクのお湯の温度を一定としたとき、水温の高い夏のほうが水温の低い冬に比べ、使えるお湯の量は多くなります。

■おすすめ設定

深夜時間帯にお湯を沸かすための「沸き上げ設定」(➔P.44) がお湯の使いかたにあった適切な設定になっているかを確認するための機能です。また、お湯が足りなくなることを防ぐための「湯切れ防止設定」(➔P.45)の確認です。

お知らせ

●既に設定されている沸き上げ設定や湯切れ防止設定を反転表示しています。

1 おしえて節約サポート を画面が変わるまで押し続ける。

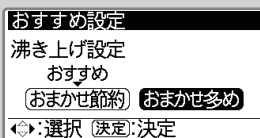
▲▼で、「おすすめ設定」を選択し、決定 を押す。

節約サポートメニュー
使用湯量目安/残湯量目安
おすすめ設定
シャワーアラーム
上手な使いかた
⇕:選択 決定:決定

●「沸き上げ設定」画面になります。

2 ◀ ▶ で沸き上げ設定を選択して 決定 を押す。

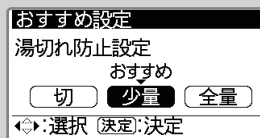
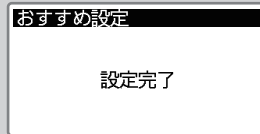
おすすめ設定
沸き上げ設定
おすすめ
おまかせ節約 おまかせ多め
⇔:選択 決定:決定

●「湯切れ防止設定」画面になります。

●「沸き上げ設定」は、昨日までの6日間の使用実績に応じて、おすすめを表示しています。使用量が急に多くなると湯が足りなくなる場合があります。その場合は、「タンク沸き増し」ボタンを押してください。
➔P.33

3 ◀ ▶ で沸き上げ設定を選択して 決定 を押す。

おすすめ設定
湯切れ防止設定
おすすめ
切 少量 全量
⇔:選択 決定:決定

おすすめ設定
設定完了

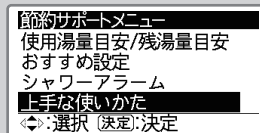
●設定完了画面になり、「標準画面」に戻ります。

●「湯切れ防止設定」のおすすめは、少量を表示します。

■上手な使いかた

エコキュートの上手な使いかたが、リモコン画面で確認できます。(8 項目)

1 おしえて節約サポート を画面が変わるまで押し続ける。

▲▼で、「上手な使いかた」を選択し、決定 を押す。

節約サポートメニュー
使用湯量目安/残湯量目安
おすすめ設定
シャワーアラーム
上手な使いかた
⇕:選択 決定:決定

●「上手な使いかた」画面になります。

2 ◀ ▶ で画面を確認する。

確認後、戻る を2回押すと標準画面に戻ります。

上手な使いかた 1/8
沸き上げ設定をおまかせ節約に設定すると、無駄がないよう少なめに沸き上げます。
⇔:前へ ⇔:次へ 戻る:戻る
➔P.44

上手な使いかた 2/8
お湯の量が十分で沸き上げが必要ない場合は、湯切れ防止設定を切ることをおすすめします。
⇔:前へ ⇔:次へ 戻る:戻る
➔P.45

上手な使いかた 3/8
お湯を使う最終時間が深夜時間帯直前のときは、湯切れ防止節約設定がおすすめです。
⇔:前へ ⇔:次へ 戻る:戻る
➔P.45

上手な使いかた 4/8
旅行などで不在となるときは、使用休止予約で沸き上げの休止設定ができます。
⇔:前へ ⇔:次へ 戻る:戻る
➔P.35

上手な使いかた 5/8
お湯は出しっぱなしにせず、蛇口やシャワーをこまめに止めましょう。
⇔:前へ ⇔:次へ 戻る:戻る

上手な使いかた 6/8
お湯が冷めるので、入浴していないときは、浴そうにふたをしましょう。
⇔:前へ ⇔:次へ 戻る:戻る

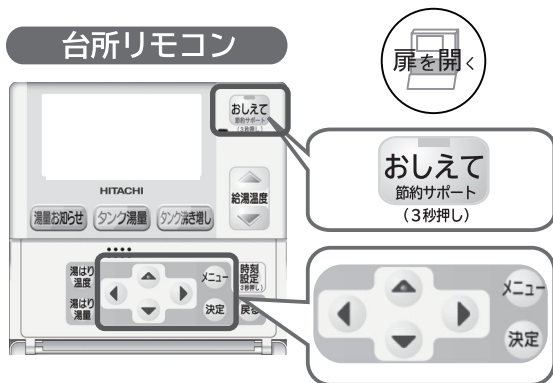
上手な使いかた 7/8
使用湯量目安は、節約の目安にもなります。蛇口やシャワーをこまめに止めることが節約につながります。
⇔:前へ ⇔:次へ 戻る:戻る
➔P.27

上手な使いかた 8/8
シャワーアラームを設定して給湯の使用時間と使用量を確認すれば、お湯の使いすぎに注意することができます。
⇔:前へ ⇔:次へ 戻る:戻る
➔P.29

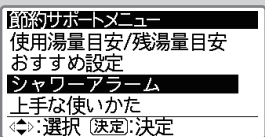
便利な機能（続き）

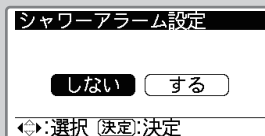
■節約サポートメニューの設定 (続き)

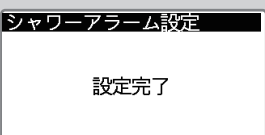
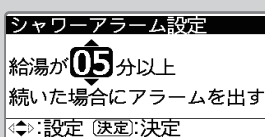
■シャワーアラーム

シャワー (浴室) や蛇口 (台所) などでお湯を使用したときに、あらかじめ設定した連続使用時間を超えると、3 段階のアラームでお知らせする機能です。

1 おしえて 節約サポート を画面が変わるまで押し続ける。

▲▼で、「シャワーアラーム」を選択し、決定 を押す。

節約サポートメニュー
使用湯量目安/残湯量目安
おすすめ設定
シャワーアラーム
上手な使いかた
◆:選択 決定:決定

●「シャワーアラーム設定」画面になります

2 ◀ ▶ で、アラームを設定「する／しない」を選択し、決定 を押す。

3 ▲▼ で1段階目のアラームを出す時間を設定する。

設定後、決定 を押す。

●設定完了画面になり、「標準画面」に戻ります。

お知らせ

●「シャワーアラーム」は、工場出荷時「しない」に設定されています。
●「シャワーアラーム」を設定している場合、食洗器を使用すると、シャワーアラーム画面が表示される場合があります。
●「シャワーアラーム」を設定しても表示されない場合があります。この場合は設定時間を短くしてください。

■シャワーアラーム（続き）

給湯を連続で使用すると、使用時間、使用量の画面が表示されます。

※下記は、シャワーアラーム設定を５分間で設定した場合です。

1 **給湯を連続で使用すると、使用開始してからの時間と使用量の画面が表示されます。**

●使用量が、設定使用時間 ×４Ｌ以上になると、自動的にシャワーアラーム画面が、表示されます。

シャワーアラーム
設定使用時間：05分
使用時間： 03分 05秒
使用量　： 25L
戻る:戻る

2 **給湯を５分間連続で使用すると、リモコンから「ピー」とアラーム音が発生し、バックライトが点滅します。**

シャワーアラーム
設定使用時間：05分
使用時間： 05分 00秒
使用量　： 45L
戻る:戻る

3 **さらに給湯を2分間連続で使用すると、リモコンから「ピー、ピー」とアラーム音が発生し、バックライトが点滅します。**

シャワーアラーム
設定使用時間：05分
使用時間： 07分 00秒
使用量　： 65L
戻る:戻る

4 **さらに給湯を2分間連続で使用すると、リモコンから「ピー、ピー、ピー」とアラーム音が発生し、バックライトが点滅します。**
以降２分毎に、リモコンから「ピー、ピー、ピー」とアラーム音が発生し、バックライトが点滅します。

シャワーアラーム
設定使用時間：05分
使用時間： 09分 00秒
使用量　： 85L
戻る:戻る

お知らせ

●シャワーアラーム画面表示中は、「給湯温度」「戻る」ボタン以外は、使用できません。
●使用量は、貯湯ユニットから出た湯量を表示します。混合水栓の「水側」の水量は、使用量に含まれません。
●リモコンの給湯温度設定を高くするほど、シャワーアラーム画面が表示されにくくなります。
●浴室で給湯を使用していなくても、台所や洗面所などで連続して給湯を使用すると、シャワーアラーム画面を表示します。
●最初少ない湯量で給湯し、途中から湯量を増やしても、シャワーアラーム画面が表示されないことがあります。
●複数箇所で、給湯された場合、使用時間と使用量は、その合計の使用時間と使用量を表示します。
●給湯を停止してから次に給湯までの間隔が約１０秒以上ない場合は、使用時間と使用量がクリアされず、前回の使用時間と使用量に加算されて表示されます。
●点検表示が表示されているときは､｢シャワーアラーム｣画面は表示されません。

途中で給湯温度設定を変更する場合

で、変更する。

変更後は、決定 を押す。

●「シャワーアラーム」画面になります。

●「シャワーアラーム」画面表示中に、「給湯温度」を変更したい場合に使用します。

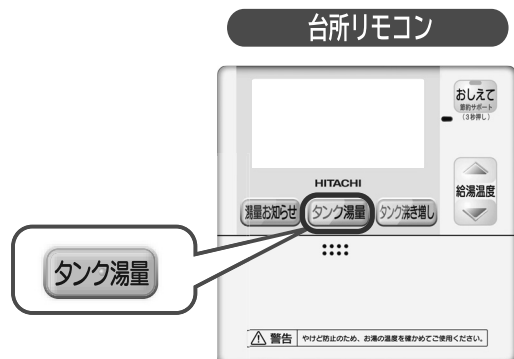
途中で標準画面に戻す場合

戻る で、標準画面に戻る。

●標準画面に戻ると「シャワーアラーム」画面は、表示されません。

●「シャワーアラーム」画面表示中に、「給湯温度」ボタン以外のボタン操作をしたいときに使用します。

使えるお湯の量と使ったお湯の量を知りたいとき

●タンク内の残りの湯温をもとに、湯量お知らせ運転の「湯はり温度」に設定した温度のお湯としてあと何Ｌ使用できるかを確認することができます。

■今日使えるお湯の量を確認する。（ダイレクトボタンから操作）

使えるお湯の量を表示する

タンク湯量 を押す。

残湯量目安(設定45℃換算)
残湯量 380L
昨日の同時刻以降の使用量 [280L]
タンク湯量:戻る

●画面に「残湯量確認」が表示されます。

●使えるお湯の量が少ない場合はこれから使うお湯の量を考慮して「沸き増し」を行ってください。
➔P.33

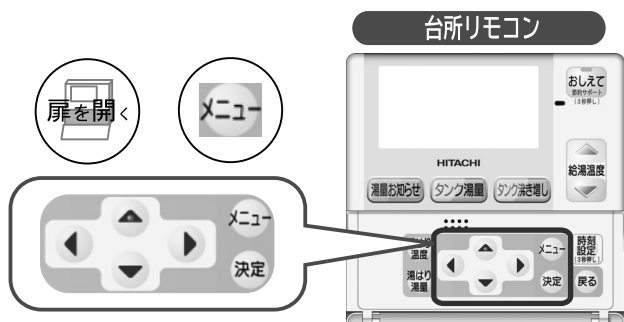
お知らせ

●夏季など、1000Ｌ以上の残湯量がある場合でも、表示の最大値は 950L になります。

画面の表示を消す

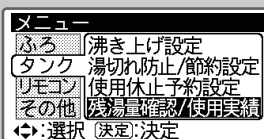
タンク湯量 を押す。

●「標準画面」に戻ります。

●タンク内の残りの湯温をもとに、湯量お知らせ運転の「湯はり温度」に設定した温度のお湯としてあと何Ｌ使用できるかを確認することができます。
●過去１週間のタンクのお湯の使用実績を見ることができます。

■今日使えるお湯の量を確認する。（メニュー画面を呼び出して操作）
■タンクのお湯の使用実績を確認する。

1 で、「タンク」「残湯量確認/使用実績」を選択し、

決定 を押す。

●「使用湯量目安」の画面になります。

メニュー
ふろ	沸き上げ設定
タンク	湯切れ防止/節約設定
リモコン	使用休止予約設定
その他	残湯量確認/使用実績

◁▷:選択 決定:決定

2 **使用湯量を確認します。**

●使用湯量目安は、表示した時刻までに使ったお湯の量を、給湯設定温度に換算し、本日、昨日、週平均（昨日までの６日間の平均）を〔リットル〕で表示します。また、昨日と週平均は、１日分についても合わせて表示します。

確認後、決定 を押す。

●「残湯量目安」画面になります。

使用湯量目安(設定40℃換算)

	15:23	1日分
本日	290L	–
昨日	480L	800L
週平均	500L	850L

決定:決定

3 **残湯量を確認します。**

●残湯量目安は、給湯設定温度に換算した、今後使えるお湯の量の目安です。現在の残湯量と昨日の表示した時刻以降に使用した湯量を〔リットル〕で表示します。

確認後、決定 を押す。

●「使用湯量確認」画面になります。

残湯量目安(設定40℃換算)

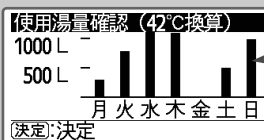
残湯量	昨日の同時刻以降の使用量
520L	[320L]

決定:決定

●昨日の同時刻以降の使用量を考慮して、使えるお湯の量が少ない場合は、「タンク沸き増し」ボタンを押してください。 ➔P.33

4 **昨日までの7日間のタンクのお湯の使用実績をグラフで確認します。**

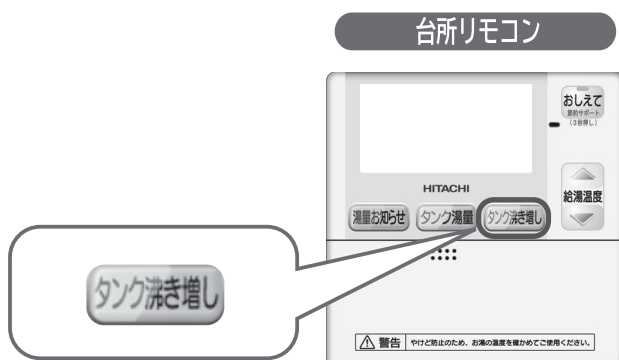
確認後、決定 を押す。

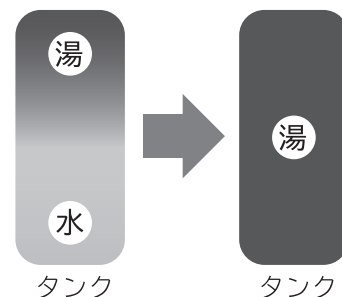
●「標準画面」に戻ります。

●昨日までの７日間のタンクのお湯の使用実績は、お湯の使用量の目安を 42℃換算した湯量で表示しています。

お知らせ

●「使用湯量目安」「残湯量目安」の表示される数値は、目安です。10L 単位で表示します。
●「使用湯量目安」は、給湯で実際に使用した湯量の合計を給湯設定温度に換算して表示します。
●「使用湯量目安」は貯湯ユニットから出た湯量を表示します。混合水栓の「水側」の水量は、使用湯量に含まれません。
●「使用湯量目安」の１日分は、０時 00 分から 23 時 59 分までの数値になります。
●本日は、０時 00 分に０Ｌになります。
●タンクのお湯と水から給湯設定温度または 42℃換算とするため、タンクのお湯の温度を一定としたとき、水温の高い夏のほうが水温の低い冬に比べ、使えるお湯の量は多くなります。

お湯が不足しそうなとき（タンク沸き増しをする）

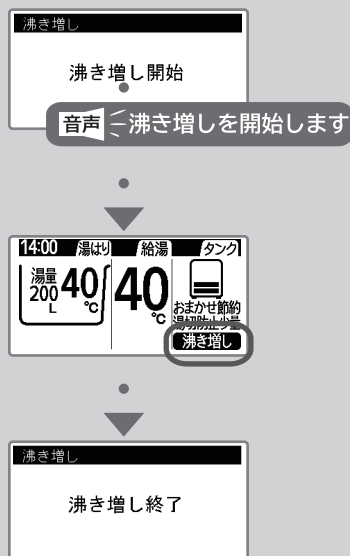
●急な来客などでたくさんのお湯が必要になったとき、「タンク沸き増し」を設定すると１回だけ「沸き増し（沸き上げ）」運転をします。

■タンク沸き増しとは

●「タンク沸き増し」を行うと、たくさんのお湯を使用しても不足しないように、タンク内全体をお湯にします。お湯が不足する前に沸き増しを行います。
●１時間で沸き上げできるお湯（約40℃）のめやす
「約120Ｌ(冬季)～240Ｌ(夏季)」

沸き増しをする

タンク沸き増し を押す。

●「タンク沸き増し」を開始します。
●画面に「沸き増し」が表示されます。

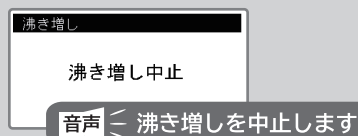
途中でやめたいとき

タンク沸き増し を押す。

●「タンク沸き増し」を中止します。

お知らせ

●タンク内に十分のお湯がある時は、「沸き増し」を設定しても、「沸き増し」を開始しないことがあります。

ご注意

●昼間時間帯の「タンク沸き増し」運転は電気料金が割高になります。
●頻繁にお湯が不足するような場合は、「沸き上げ設定」の設定内容を確認し、深夜時間帯の沸き上げ量が少ない場合は「沸き上げ設定」を変更してください。➔P.44

凍結防止について（外気温が低いとき）

●各配管に保温工事がしてあっても、本体周囲温度が0℃以下になると配管が凍結し、貯湯ユニットや配管が破損することがあります。寒冷地だけでなく、暖かい地域でも凍結することがありますので、お買い上げの販売店、工事店と相談して適切な凍結防止対策を行ってください。

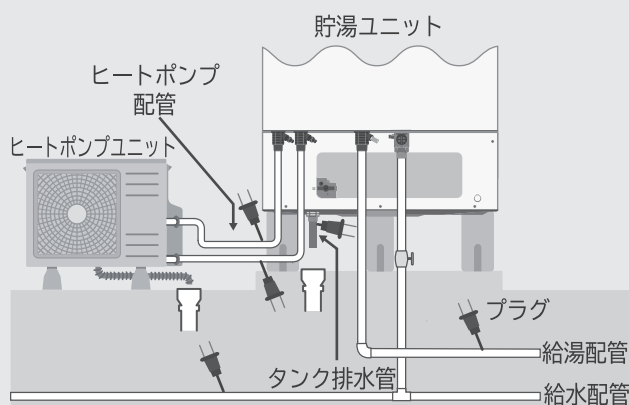
混合水栓を少し開いておく

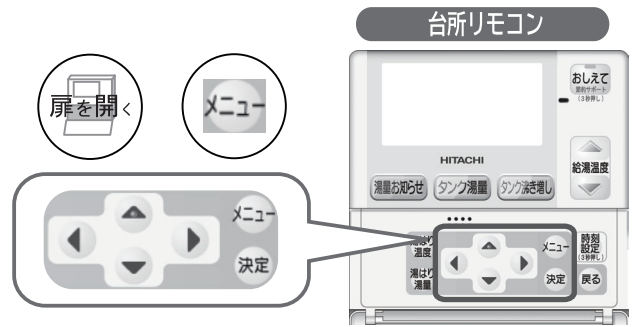
1. 給湯温度を「低温」に設定します。
2. 混合水栓を開け、わずかに水が出るように調節します。
   - ・シングルレバーの場合は、レバーを水側と湯側の中間位置にして開けます。
   - ・ツーハンドルの場合は、水側と湯側のハンドルを同じ程度に開けます。
   - ・サーモスタット付きの場合は、混合水栓の設定温度を 40℃前後にしてください。

凍結防止ヒーターを使う

1. 凍結防止ヒーターが、下図のように巻かれていることを確認します。
2. 使用時は、すべてのプラグをコンセントに差し込みます。

お願い

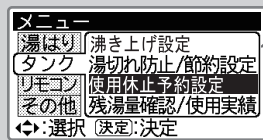
●配管が凍結した場合は、タンク専用止水栓を閉じてお買い上げの販売店へご連絡ください。
●凍結しない季節になったらプラグをコンセントから抜いてください。

数日間お湯を使わないとき(使用を休止する)

●旅行へ出かけるなど、お湯を使わないことが事前にわかっている場合は、タンクの使用を休止することができます。
●休止日数は、1日～31日間設定できます。
●休止日は、最大6か月先の月まで設定できます。
●使用休止中も気温が低くなると、沸き上げる場合があります。

※10月20日から使用を休止し、10月30日からお湯の使用を再開する場合の例です。
この設定をすると、29日の深夜時間帯から沸き上げを再開し、30日朝（深夜時間帯終了後）にはお湯が使用できます。

1 で「タンク」「使用休止予約設定」を選択し、

決定 を押す。

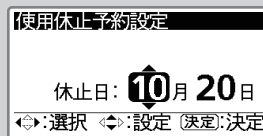
●「使用休止予約設定」の入力画面になります。

メニュー
湯はり　沸き上げ設定
タンク　湯切れ防止/節約設定
リモコン　使用休止予約設定
その他　残湯量確認/使用実績
◆:選択 決定:決定

●既に「使用休止予約」が設定済みの場合は、**休止予約済みの場合** に進みます。

2 で「休止日」を合わせ、

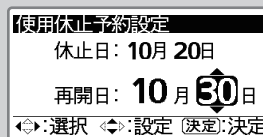
決定 を押す。

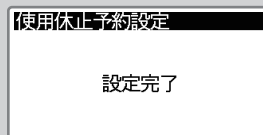
●「再開日」の入力画面になります。

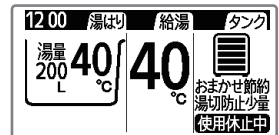
使用休止予約設定
休止日：10月 20日
◆:選択 ◆:設定 決定:決定

3 で「使用再開日」を合わせ、

決定 を押す。

●確認画面になります。

使用休止予約設定
休止日：10月 20日
再開日：10月 30日
◆:選択 ◆:設定 決定:決定

4 確認後、決定 を押す。

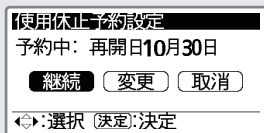
●設定完了画面になり、「標準画面」に戻ります。
●再開日の朝（深夜時間帯終了時）からお湯が使えます。

使用休止予約設定
設定完了

●設定すると「使用休止予約」が画面に表示されます。
●使用休止期間に入ると、「使用休止中」が画面に表示されます。

●使用休止期間が終了すると「使用休止中」の表示が消えます。

休止予約済みの場合

予約内容が表示され、継続／変更／取消の選択画面が表示されます。

■「継続」：休止予約を継続
■「変更」：予約の変更
　2 から操作してください。
■「取消」：休止予約の取り消し

使用休止予約設定
予約中：再開日10月30日
継続　変更　取消
◆:選択 決定:決定

ご注意

●冬期に気温が低くなるときは使用休止予約の設定はしないでください。貯湯ユニットや配管が凍結し、故障の原因となります。

1か月以上お湯を使用しないとき(排水のしかた)

●１か月以上使用しないときは、運転を止め貯湯ユニットおよび配管の水を抜いてください。
●ふたたび使用するときは、「貯湯ユニットに給水するとき」➔P.37 にしたがって貯湯ユニットへ給水してください。

1 混合水栓を開く

●ぬるい水が出てくるまで開いておきます。貯湯ユニット排水時に熱湯が排水されることを防止します。(貯湯ユニットの排水温度は45℃以下にしてください)

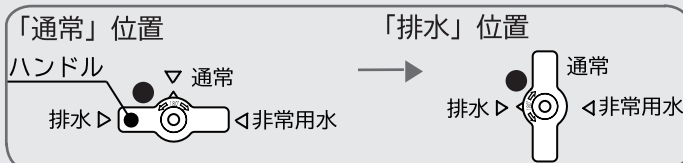
2 貯湯ユニットのお湯を排水する

1 漏電遮断器のスイッチを「OFF」にします。

2 脚カバーまたは配管カバーを取り付けている場合は、ねじを外し、脚カバーまたは配管カバーを外します。

3 タンク専用止水栓を閉じます。
●貯湯ユニットへの給水を止めます。タンク専用止水栓が右図の位置にない場合、お買い上げの販売店に位置をお問い合わせください。

4 逃し弁のレバーを上げます。

5 タンク排水栓のハンドルを左へ90°回し、「排水」位置にします。

貯湯ユニットの水を排水します。排水口から水があふれないようタンク排水栓の開き具合を調節してください。
※排水は約１時間〜１時間30分かかります。

6 貯湯ユニットの「給水水抜き栓」、「給湯水抜き栓」、「ふろ往き側水抜き栓」、「ふろ戻り側水抜き栓」、「ヒートポンプＡ側水抜き栓」、「ヒートポンプＢ側水抜き栓」を開きます。

3 ヒートポンプユニットの水抜きをする

1 ねじを取りはずし、カバーをツメ(６か所)が抜けるまで下方へスライドさせて外します。

2 ヒートポンプユニットの「熱交下水抜き栓」、「熱交上水抜き栓」、「入水金具水抜き栓」を開きます。

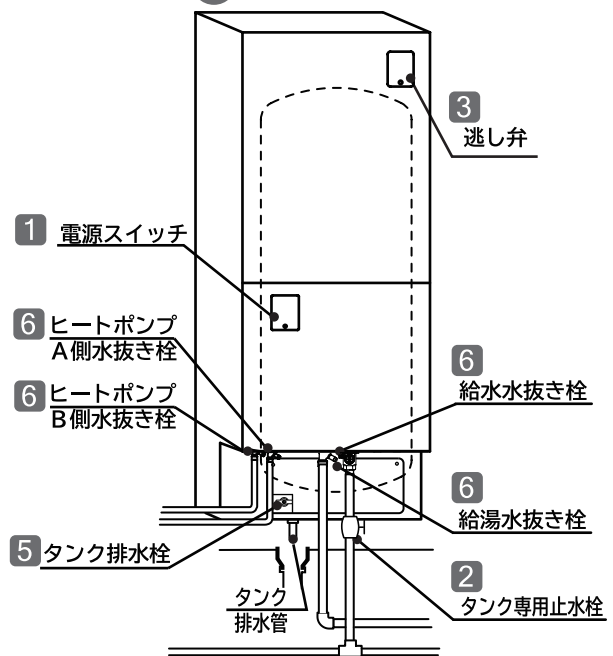
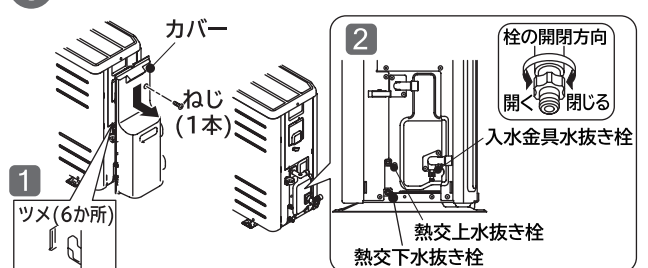
3 ヒートポンプユニット

4 排水栓、水抜き栓を閉じる

●排水栓および全ての水抜き栓から水が出なくなったら、

1 貯湯ユニットの「タンク排水栓」を「通常」位置にし、各「水抜き栓」を閉じます。
※脚カバーまたは配管カバーを取り付けている場合は、元どおり取り付けてください。

2 ヒートポンプユニットの各「水抜き栓」を閉じます。

3 ヒートポンプユニットの「カバー」を元通り取り付ます。

お願い

●水抜き終了後、「排水栓」、各「水抜き栓」が閉まっていることを確認してください。
●凍結するおそれの高い地域の場合は、お買い上げの販売店、工事店に完全な水抜き作業を依頼してください。本ページの水抜き作業を行っても、配管の一部に水が残り、凍結を完全に防止することはできません。
●前日から準備できる場合、使用休止予約を行ってください。むだな沸き上げを行いません。
➔P.35

⚠警告

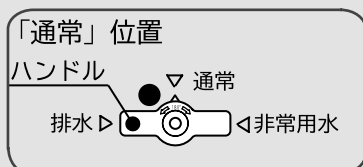
やけど注意

やけどのおそれあり。
●高温の湯を排水することがあります。

貯湯ユニットに給水をするとき

●ご使用前に貯湯ユニットを満水にしてヒートポンプユニットのエア抜きを行う必要があります
●以下の手順に従ってください。
（お買い上げの販売店または工事店に作業を依頼する場合は有償になります。）

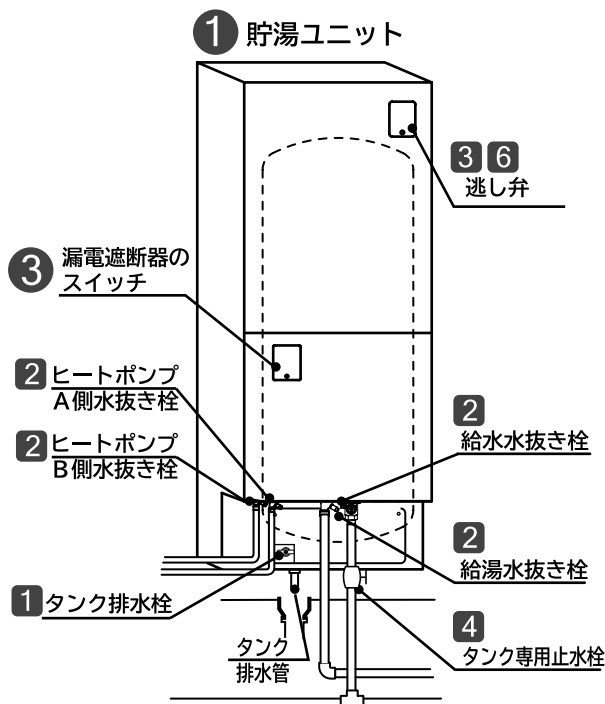
1 貯湯ユニットに給水する

1 タンク排水栓を「通常」の位置にします。

2 「給水水抜き栓」、「給湯水抜き栓」、「ヒートポンプ A 側水抜き栓」、「ヒートポンプ B 側水抜き栓」が閉じていることを確認します。

3 逃し弁のレバーを上げます。

4 タンク専用止水栓を開き、タンクへの給水を行います。
タンク専用止水栓が右図の位置にない場合、お買い上げの販売店に位置をお問い合わせください。

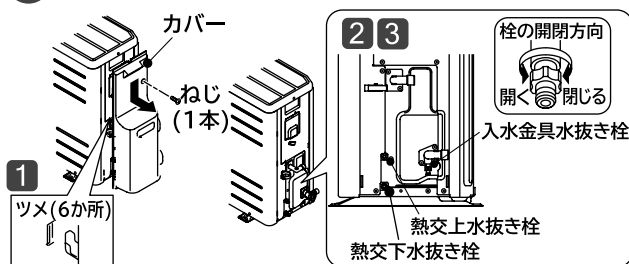
5 タンク排水管から水が出ることを確認します。
(連続で水が出てきたら満水です。約30～40分かかります。)

6 逃し弁のレバーを下げます。

2 ヒートポンプユニットのエア抜きをする

1 ねじを取りはずし、カバーをツメ（6か所）が抜けるまで下方へスライドさせて外します。

2 「熱交下水抜き栓」を開きます。3 分以上開き、勢いよく水が出てくることを確認してください。確認しましたら閉じます。

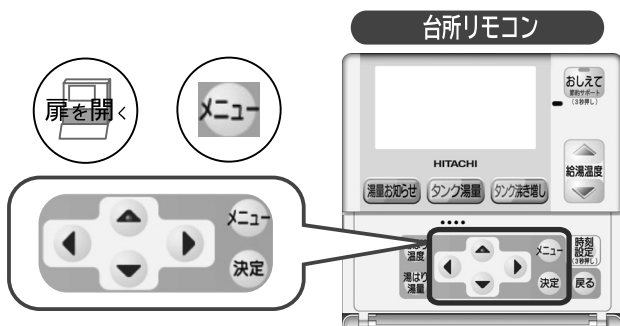
3 「熱交上水抜き栓」を開きます。3 分以上開き、勢いよく水が出てくることを確認してください。確認したら閉じます。

4 カバーを元どおり取り付けます。

3 電源を入れる

1 200Vの電源ブレーカーを「ON」にします。

2 貯湯ユニットの漏電遮断器のスイッチを「ON」にします。

お願い

●必ず、貯湯ユニットを満水にし、ヒートポンプユニットのエア抜きが完了していることを確認してから電源を入れてください。

4 ヒートポンプ配管のエア抜きをする

1 で「その他」「ＨＰエア抜き」を選択し、

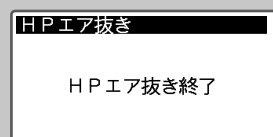
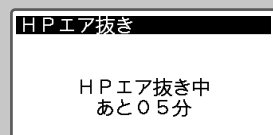
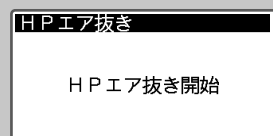
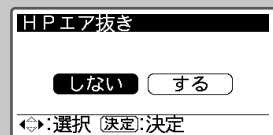
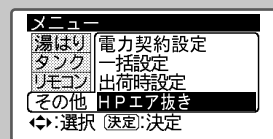
決定 を押す。

●「ＨＰエア抜き」画面になります。

2 で「する」を選択し、

決定 を押す。

●ヒートポンプ配管のエア抜きを行います。
ヒートポンプ配管のエア抜きは５分行います。終了したら自動的に「ＨＰエア抜き終了」の画面に変わります。

●「ＨＰエア抜き終了」の画面から約２秒後自動的に標準画面に戻ります。

非常用水として使用するとき

●万一の災害時に、貯湯ユニットのお湯を非常用生活用水として利用できます。
●飲用はできません。やむを得ず飲用する場合は、必ず沸騰させてください。

1 漏電遮断器のスイッチを「OFF」にする。

2 脚カバーを外す。

※脚カバーまたは配管カバーを取り付けている場合は、ねじを外し、脚カバーまたは配管カバーを外してください。

3 タンク専用止水栓を閉じる。

●タンクへの給水を止めます。タンク専用止水栓が右図の位置にない場合、お買い上げの販売店に位置をお問い合わせください。

4 逃し弁を開く。

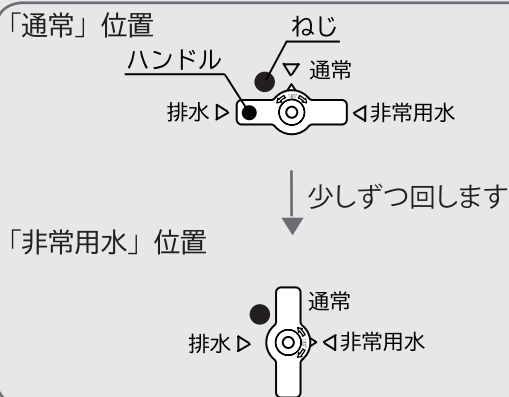
●タンクに空気を入れ、取水できるようにします。

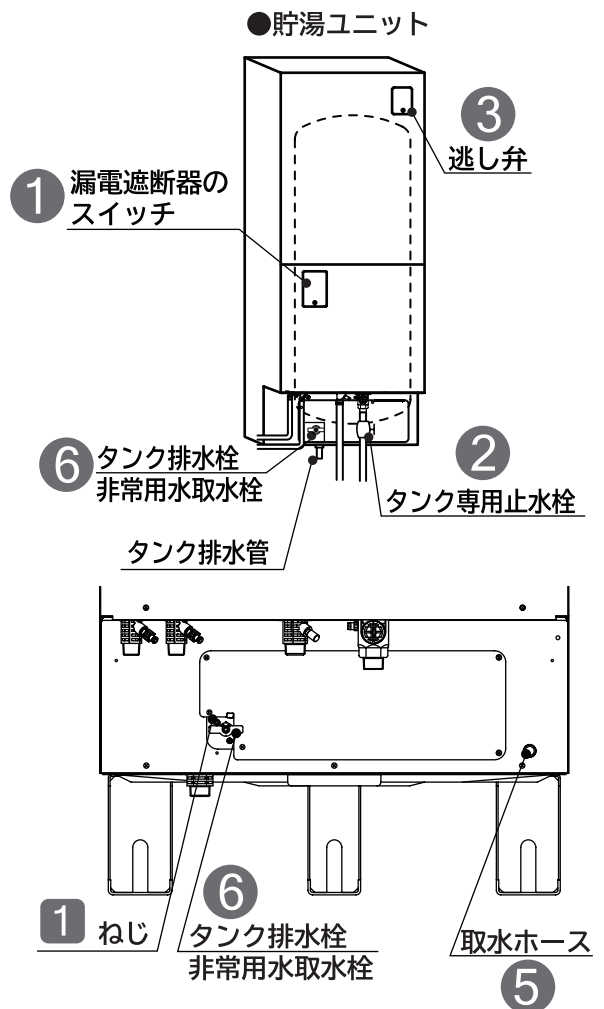
5 取水ホースを取り出す。

●取水ホースを貯湯ユニットの外に引き出し、バケツなどで受けてください。

6 タンク内のお湯（水）を出す。

1 ねじを取り外します。

2 ハンドルを少しずつ右に回します。
※早く回すと、お湯（水）が勢いよく出ますので、ご注意ください。

3 止めるときは、ハンドルを左に回し、「通常」位置に合わせてください。

4 1 で取り外したねじを取り付けてください。

お願い

●取水ホースからは、お湯（水）が出てきますが、使いはじめは、湯アカなどが出ますのでしばらく洗い流してください。取水後は、「タンク排水栓」が「通常」位置であることを確認してください。
●災害から復旧し、給湯機としてふたたび使用するときは、「貯湯ユニットに給水するとき」➔P.37 にしたがって貯湯ユニットに給水してください。

⚠ 警告

取水中、熱湯（最高 90℃）が出る場合があります。
非常用水使用時は湯温を確かめて熱に強い容器を使用してください。

停電のとき

●停電復帰時、台所リモコンの時刻がずれている場合がありますので、設定を確認してください。
●停電中は、「給湯」、「湯量お知らせ」とも使用できません。タンクにお湯が残っていれば、シャワーや蛇口を開くとお湯が出ます。ただし、リモコンに設定した温度のお湯にはなりません。また、熱いお湯が出る場合がありますのでご注意ください。
●停電復帰時、時刻がずれたりリモコンの設定が変わる場合がありますので、リモコンの設定を確認してください。

リモコン	項目	リモコン設定値
台所リモコン	日付	日付がずれている場合があります。 →P.47
	時刻	時刻がずれている場合があります。 →P.48
	その他	設定値は記憶されていますが、停電前と変わっていないか確認してください。

お願い

停電復帰時は、必ず「リモコン」の表示時刻を確認してください。

●表示時刻が違っている場合は、電気料金が割高になる場合がありますので、現在時刻に合わせてください。

お知らせ

●湯量お知らせ運転中に停電した場合は、湯はり終了のお知らせはありません。また、停電復帰後、湯量お知らせ運転は継続しますが、湯はり終了お知らせの前に、浴そうのお湯があふれることがありますのでご注意ください。

断水のとき

●断水のときは「タンク専用止水栓」を閉じてください。
断水中は貯湯ユニット内に給水されないためお湯は出ません。
●断水時にはすべての混合水栓（蛇口）を水側にして、混合水栓（蛇口）を開けないでください。
●断水復帰後、混合水栓 (蛇口) の水側を開けて、水の汚れがなくなったのを確認してから、「タンク専用止水栓」を開いて使用を再開してください。
●断水復帰直後は、水圧が低い場合がありますので、ご使用は水圧が高くなるまで待ってください。

ご注意 ●タンク専用止水栓を閉じないでそのまま使用すると、次のような原因になります。
・濁った水で貯湯ユニットのストレーナ部が目詰まりし、湯量が減少したり、お湯が濁る。
・貯湯ユニットに空気が入り断水復帰後、設定温度のお湯が出なかったり、湯温が安定しない。

お手入れと点検

日常のお手入れ

■リモコンの掃除

リモコンの表面が汚れたときは、乾いた布や水に濡らした布を固く絞って拭いてください。

●汚れが落ちにくい場合は、台所中性洗剤を薄めて使い、ぬるま湯を含ませた布でふき取ってください。

ご注意 リモコンの掃除は・・

●「ふろ用洗剤」「弱アルカリ性の台所洗剤」「ベンジン」「シンナー」などは、リモコンの変形や変色の原因になります。使用しないでください。

●水洗いはしないでください。故障の原因になります。

月に１度のお手入れと点検

■表示時刻の確認

月に一度は表示時刻を確認し、正確な時刻に合わせてください。

●リモコンの表示時刻が現在時刻と合っていないと、電気料金が割高になる場合があります。 ➔P.48

■漏電遮断器の点検

●漏電したとき自動的に電気を切るための安全装置です。

1 テストボタンを押す。 ➔P.15

●電源スイッチが「ON」→「OFF」になれば正常です。

2 電源スイッチを「ON」に戻します。

お願い テストボタンを押しても「OFF」にならない場合は、「電源ブレーカー」を「OFF」にしてお買い上げの販売店にご連絡ください。

⚠警告

漏電遮断器の動作を確認する。

動作確認

●故障のまま使用すると感電することがあります。

●確認後は操作カバーを閉じてください。開けておくと雨水やゴミが入り、漏電や感電をすることがあります。

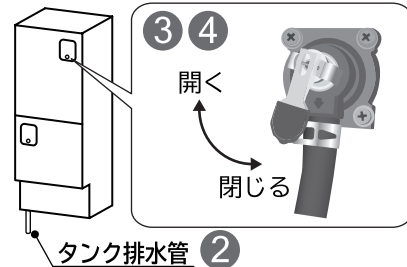
年に２～３度のお手入れと点検

■逃し弁の点検

●逃し弁は、沸き上げ時にタンク内の膨張水を排出し、タンク内が高圧になるのを防ぎます。

1. 沸き上げ中（リモコンに「沸き上げ」または「沸き増し」が表示）でないことを確認する。
2. タンク排水管からお湯（水）が出ていないことを確認する。
3. 逃し弁のレバーを上げ（開）、タンク排水管からお湯（水）が出ることを確認する。
4. 逃し弁のレバーを下げて、お湯（水）が止まることを確認する。
   ●お湯（水）が止まらないときは、レバーを２～３度、上げ下げしてください。

⚠警告

逃し弁点検時は、配管に手を触れない。
●手を触れるとやけどをすることがあります。

お願い

●**逃し弁の点検は、沸き上げ時に行わないでください。**
●点検後は、必ず逃し弁のレバーを下げて（閉）にしてください。
●レバーを上げたときにタンク排水管から、お湯（水）が出ない場合や、レバーが下がっているのに、お湯（水）が出る場合は、弁類の故障が考えられます。漏電遮断器のスイッチを「OFF」にして、お買い上げの販売店にご連絡ください。

お知らせ

●「沸き上げ」「沸き増し」中に、少量のお湯を排水するのは正常な動作です。

■貯湯ユニットのそうじ

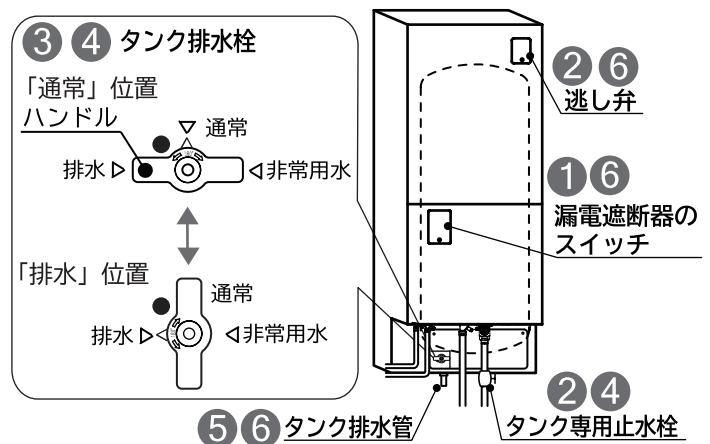
●使用中、タンク底部に湯アカなどの沈でん物がたまります。タンクの湯を排水することにより、タンク内の沈でん物を除去します。

1. 沸き上げ中（リモコンに「沸き上げ」または「沸き増し」が表示）でないことを確認し、漏電遮断器のスイッチを「OFF」にする。
2. タンク専用止水栓を閉め、逃し弁のレバーを上げる。
   ●タンク専用止水栓が右図の位置にない場合、お買い上げの販売店に位置をお問い合わせください。
3. タンク排水栓のハンドルを左に 90°回し「排水」位置とし、約２分間排水する。
4. タンク排水栓のハンドルを右に 90°戻し「通常」位置とし、タンク排水管から湯がでないことを確認する。
5. タンク専用止水栓を開ける。
6. タンク排水排水管からお湯（逃し弁からのお湯）が出てきたら逃し弁のレバーを下げ、漏電遮断器のスイッチを「ON」にする。
   ●湯が止まらない場合は、逃し弁のレバーを２～３回、上げ下げしてください。

③④ タンク排水栓
「通常」位置
ハンドル
▽ 通常
排水 ▷
◁非常用水
「排水」位置
通常
排水 ▷
◁非常用水

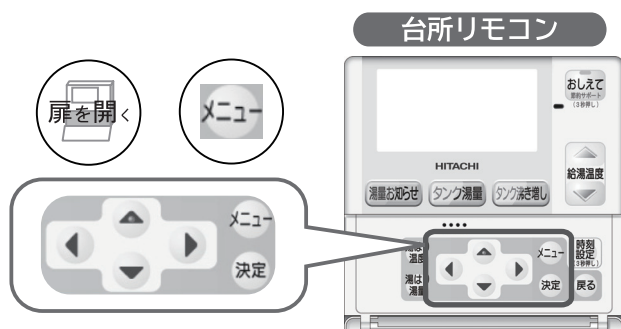
②⑥ 逃し弁
①⑥ 漏電遮断器のスイッチ
②④ タンク専用止水栓
⑤⑥ タンク排水管

⚠警告

貯湯ユニットの排水時は、お湯に手を触れない。
●熱いお湯が出てやけどをすることがあります。

■配管の点検

貯湯ユニット周囲に漏れていないか、保温材が傷んでいないか点検してください。

●特に集合住宅（マンション）では、水が漏れると階下に被害を与えます。ドレンホースから水が出ていないことを確認してください。

給湯機の設定

■電力契約の設定

●電力契約が設定済みであるか、販売店または工事店に確認してください。設定がされている場合は、変更する必要はありません。

●「一括設定」による設定の場合は 2 からの操作になります。➔P.21

1 「その他」「電力契約設定」を選択し、決定 を押す。

●「電力契約設定」の画面になります。

メニュー
湯はり 電力契約設定
タンク 一括設定
リモコン 出荷時設定
その他 HPエア抜き
◇:選択 決定:決定

2 ▲▼ で契約番号を選択する。

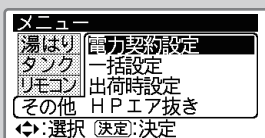
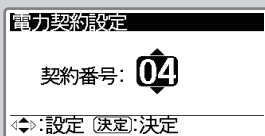
●下記の図表を参照して、番号を選択します。

決定 を押す。

ご注意

●電力契約番号の設定が誤っていると電気料金が割高になる場合があります。契約内容をよくお確かめの上設定してください。

お知らせ

●電力契約番号は、当社独自の番号であり、電力会社が定めるものではありません。

■電力契約の番号と時間帯概要（2012年5月現在）

※グラフの上の数字は時間を表しています。契約している電力制度の内容は、各電力会社にお問合わせください。
　Aゾーン、Bゾーン、Cゾーンの用語は、説明のために付加したもので、各電力会社の定める用語ではありません。

●契約名称と設定する契約番号

電力会社	契約名称	契約番号
北海道電力	ドリーム8、ドリーム8エコ（深夜時間帯22時～6時）	07
	ドリーム8、ドリーム8エコ（深夜時間帯23時～7時）	08
	ドリーム8、ドリーム8エコ（深夜時間帯24時～8時）	09
	eタイム3	06
東北電力	やりくりナイト8	00
	やりくりナイト10、やりくりナイトS	06
東京電力	おトクなナイト8	00
	電化上手	02
	おトクなナイト10	06
中部電力	タイムプラン	00
	Eライフプラン	04
北陸電力	エルフナイト8	00
	エルフナイト10プラス	05
	エルフナイト10	06
関西電力	時間帯別電灯	00
	はぴeタイム	02
中国電力	エコノミーナイト	01
	ファミリータイム	03
四国電力	電化DEナイト、得トクナイト	00
九州電力	時間帯別電灯	00
	電化deナイト	05
	よかナイト10	06
沖縄電力	時間帯別電灯	00
	Eeらいふ	02

●契約番号と時間帯名称

契約番号	時間帯名称
00	0–7 深夜時間帯 Aゾーン / 7–23 昼間時間帯 Bゾーン / 23–24 深夜
01	0–8 深夜時間帯 Aゾーン / 8–23 昼間時間帯 Bゾーン / 23–24 深夜
02	0–7 深夜時間帯 Aゾーン / 7–10 朝晩・リビング Bゾーン / 10–17 昼間時間帯 Cゾーン / 17–23 朝晩・リビング Bゾーン / 23–24 深夜
03	0–8 深夜時間帯 Aゾーン / 8–10 朝晩・リビング Bゾーン / 10–17 昼間時間帯 Cゾーン / 17–23 朝晩・リビング Bゾーン / 23–24 深夜
04	0–7 深夜時間帯 Aゾーン / 7–9 朝晩・リビング Bゾーン / 9–17 昼間時間帯 Cゾーン / 17–23 朝晩・リビング Bゾーン / 23–24 深夜
05	0–8 深夜時間帯 Aゾーン / 8–10 朝晩・リビング Bゾーン / 10–17 昼間時間帯 Cゾーン / 17–22 朝晩・リビング Bゾーン / 22–24 深夜
06	0–8 深夜時間帯 Aゾーン / 8–22 昼間時間帯 Bゾーン / 22–24 深夜
07	0–6 深夜時間帯 Aゾーン / 6–16 昼間時間帯 Bゾーン / 16–18 ピーク Cゾーン / 18–22 昼間時間帯 Bゾーン / 22–24 深夜
08	0–7 深夜時間帯 Aゾーン / 7–16 昼間時間帯 Bゾーン / 16–18 ピーク Cゾーン / 18–23 昼間時間帯 Bゾーン / 23–24 深夜
09	0–8 深夜時間帯 Aゾーン / 8–16 昼間時間帯 Bゾーン / 16–18 ピーク Cゾーン / 18–24 昼間時間帯 Bゾーン

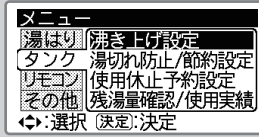
■沸き上げ設定

●沸き上げる湯量を設定します。使用するお湯の量にあった設定をしてください。
●お買い上げ時は、「おまかせ　節約」に設定されています。
●使えるお湯の量は、「沸き上げ設定」のほかに「湯切れ防止設定」で変わります。「湯切れ防止設定」も必ずご確認ください。

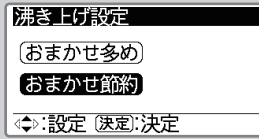
1 「タンク」「沸き上げ設定」を選択する。

●「沸き上げ設定」の画面になります。

メニュー
湯はり　沸き上げ設定
タンク　湯切れ防止/節約設定
リモコン　使用休止予約設定
その他　残湯量確認/使用実績
:選択 決定:決定

2 で湯量を選択する。

●下記の図表を参照して、番号を選択します。

決定 を押す。

沸き上げ設定
おまかせ多め
おまかせ節約
:設定 決定:決定

お知らせ
●「一括設定」による設定の場合は 2 から操作します。(➔P.21)

お知らせ
●既に設定してある湯量を反転表示します。
●設定は下の「沸き上げ量設定の目安」表を参考に設定してください。

■沸き上げ量設定の目安

沸き上げ設定	沸き上げ内容と設定の目安	
おまかせ節約 (約65～90℃)	前日までの 7 日間の平均使用量に応じた湯量を深夜時間帯に沸き上げます。 お湯の残りが少なくなるように、少なめに沸き上げる設定です。 **●お湯の使用量が少ない場合の設定です。** ※頻繁にお湯が不足（湯切れ）する場合は、「おまかせ多め」に設定を変更してください。	お湯の使用量が多く、深夜時間帯の沸き上げだけではお湯が不足する場合は、不足分を電力契約のBゾーン時間帯（➔P.43)で沸き上げます。
おまかせ多め (約70～90℃)	前日までの 7 日間の最大使用量に応じた湯量を深夜時間帯に沸き上げます。 お湯が不足（湯切れ）しにくいように、多めに沸き上げる設定です。 **●家族が多いなど、お湯の使用量がわからない場合の設定です。** ※お湯の使用量が分からない場合はこの設定にして、頻繁にお湯が余る場合は、「おまかせ節約」に設定を変更してください。	

お知らせ
●沸き上げ設定の温度はヒートポンプユニットで沸き上げるお湯の温度です。ヒートポンプユニットから貯湯ユニットまでの配管の長さ、配管の保温状態、外気温度などによりタンクにたまるお湯の温度は沸き上げ温度より低くなります。
●追いだきを多く使う場合は､「おまかせ多め」を使用してください｡「おまかせ節約」の場合、湯量が不足し、追いだきできなくなる場合があります。なお､「おまかせ多め」でも湯量が不足し、追いだきができなくなる場合は「タンク沸き増し」ボタンを押して沸き上げを行ってください（➔P.33）。
●不足分の B ゾーン時間帯沸き上げは残湯量目盛の上から 2 目盛り目が消灯するころに開始します（➔P.14）。そのため、「湯切れ防止 少量」よりも先に沸き上げ運転を行いますが異常ではありません。
●不足分の B ゾーン時間帯での沸き上げは「湯切れ防止」設定を「切」にすると行いません。湯切れする場合は、「湯切れ防止」設定「少量または全量」を設定してください（➔P.45）。

給湯機の設定（続き）

■湯切れ防止 / 節約設定

■湯切れ防止とは

設定しておくと、毎日、電力契約のいずれの時間帯でも、タンク内のお湯が減るたびに自動で沸き増しをおこない、湯切れするのを防ぎます。昼間にも沸き上げするため、電気料金が割高になる場合があります。
「湯切れ防止」で沸き増すお湯の量には、「少量」と「全量」があります。

お知らせ
●残湯量の検知はタンクの湯の温度で行うためタンクの湯の温度によっては、残湯量が多い場合でも「湯切れ防止」機能がはたらく場合があります。

■節約設定とは

電気料金を節約するための設定です。湯切れが発生しても、深夜時間帯直前の場合は、電気料金を節約するためにタンクの沸き上げを深夜時間帯になるまで保留する機能です。深夜時間帯０～３時間前が設定できます。
下の表を参考にして、お湯を使う最終の時間帯によって設定してください。

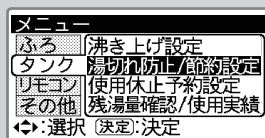
※深夜時間帯が 23 時から始まる電力契約を例にしためやすです。

表示	「湯切れ防止」機能の動作	設定の目安
深夜時間帯までの０時間は沸き上げしない	深夜時間帯直前でもはたらきます	23 時までお湯を使う場合
深夜時間帯までの１時間は沸き上げしない	深夜時間帯 1 時間前からはたらきません	22 時以降はお湯を使わない場合
深夜時間帯までの２時間は沸き上げしない	深夜時間帯 2 時間前からはたらきません	21 時以降はお湯を使わない場合
深夜時間帯までの３時間は沸き上げしない	深夜時間帯 3 時間前からはたらきません	20 時以降はお湯を使わない場合

1 「タンク」/「湯切れ防止/節約設定」を選択し、決定 を押す。

●「湯切れ防止設定」画面になります。

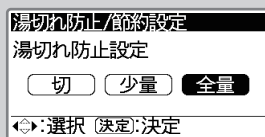
メニュー
ふろ | 沸き上げ設定
タンク | 湯切れ防止/節約設定
リモコン | 使用休止予約設定
その他 | 残湯量確認/使用実績
◀▶:選択 決定:決定

お知らせ
●「一括設定」による設定の場合は 2 から操作します。➔P.21

2 ◀ ▶ で湯量を選択する。

決定 を押す。

●節約設定の画面になります。

湯切れ防止/節約設定
湯切れ防止設定
切 少量 全量
◀▶:選択 決定:決定

●既に設定されている内容を反転表示します。
●湯切れ防止設定を「切」に設定すると「湯切れ防止」機能ははたらきませんので、湯切れする可能性があります。
●湯切れ防止設定を「切」に設定した場合、設定はここで完了し、3 「節約設定」画面にはなりません。

3 ▲ ▼ で沸き上げしない時間を設定する。

決定 を押す。

●「設定完了」の画面になり、「標準画面」に戻ります。

湯切れ防止/節約設定
節約設定
深夜時間帯までの 0 時間
は沸き上げしない
▲▼:設定 決定:決定

湯切れ防止/節約設定
設定完了

●時間を設定するとその時間帯の「湯切れ防止」機能は、はたらきません。

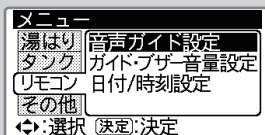
■音声ガイド設定

■台所リモコンには、操作方法や設定内容をお知らせする音声ガイド機能がついています。
●音声ガイドのモードを設定します。

1 「リモコン」「音声ガイド設定」を選択し

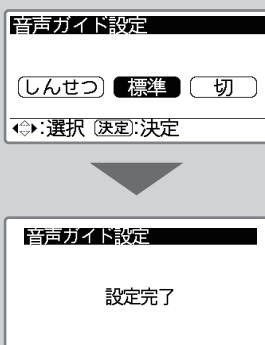
決定 を押す。

●「音声ガイド設定」の画面になります。

メニュー
湯はり 音声ガイド設定
タンク ガイド･ブザー音量設定
リモコン 日付/時刻設定
その他
:選択 決定:決定

2 ◀ ▶ で音声ガイドを選択し

決定 を押す。

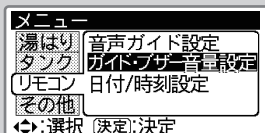
●「設定完了」の画面になり、「標準画面」に戻ります。

お知らせ
●「一括設定」による設定の場合は 2 から操作します。

お知らせ
●「しんせつ」に設定すると、操作方法や機能動作に関する内容、設定内容をアナウンスします。
●「標準」に設定すると動作中の機能が停止した場合や安全に関わることなどをアナウンスします。

■ガイド・ブザー音量設定

■機能の終了をお知らせするブザー音や、操作説明などの音声ガイド、「おしえて」ボタンの音声ガイドの音量が変更できます。

1 「リモコン」「ガイド・ブザー音量設定」を選択し、決定 を押す。

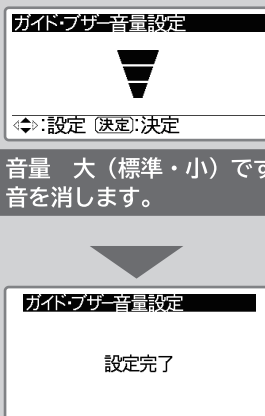
●「ガイド・ブザー音量設定」の画面になります。

メニュー
湯はり 音声ガイド設定
タンク ガイド･ブザー音量設定
リモコン 日付/時刻設定
その他
:選択 決定:決定

2 で音量を選択し

●「設定完了」の画面になり、「標準画面」に戻ります。

ガイド･ブザー音量設定
:設定 決定:決定

音声 音量 大（標準・小）です。
音を消します。

お知らせ
●「一括設定」による設定の場合は 2 から操作します。➡P.21

●「音量」を変更する毎に、対応する音量でアナウンスされます。
●同じ音量でも深夜など雑音の少ない環境では大きく聞こえたり、雑音の多い昼間は聞き取りにくかったりすることがあります。

給湯機の設定（続き）

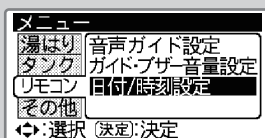
■日付 / 時刻の設定

■お使いはじめには、必ず日付・時刻を設定してください。
●時刻はひと月に一度は確認し、正しく合わせてください。
●現在時刻が合っていないと、深夜時間帯前に沸き上げを行ってしまうなど、電気料金が割高になってしまうことがあります。

1 「リモコン」「日付/時刻設定」を選択し

決定 を押す。

●「日付設定」の画面になります。

メニュー
湯はり　音声ガイド設定
タンク　ガイド･ブザー音量設定
リモコン　日付/時刻設定
その他
◆:選択 決定:決定

2 で年・月・日を選択し変更します。

決定 を押す。

●「時刻設定」の画面になります。

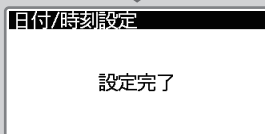
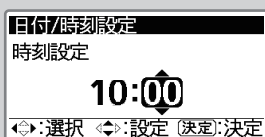
日付/時刻設定
日付設定
2011年 10月 10日
◆:選択 ◆:設定 決定:決定

3 で時・分を選択し変更します。

決定 を押す。

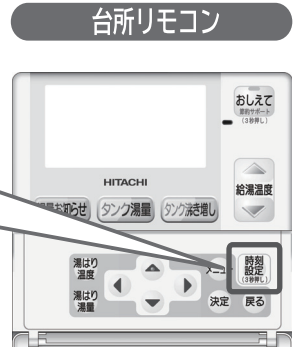
●「設定完了」の画面になります。
●「標準画面」に戻ります。

日付/時刻設定
設定完了

お知らせ
●「一括設定」による設定の場合は **2** から操作します。➔P.21

お知らせ
●時刻は 24 時間表示です。
昼の 12 時は「12：00」
夜の 12 時は「0：00」
を表示します。

■時刻設定（ダイレクトボタンから操作）

台所リモコン

■台所リモコンには「時刻設定」ボタンがあり、時刻の設定ができます。
●時刻のずれを修正する場合など、日付の設定が不要な場合は、メニュー操作をしなくても時・分の設定が行えます。

■時・分の設定

1 時刻設定（3秒押し） を画面が変わるまで押しつづける。

●日付設定の画面になります。

で時・分を選択し変更する。

決定 を押す。

●「設定完了」の画面になり、「標準画面」に戻ります。

お知らせ

●メニュー一覧の「日付 / 時刻設定」で行う日付設定と同じ機能、同じ操作方法で設定できます。

■正時設定（０分調整）

●電話などの時報に合わせて０分調整をします。
●リモコンの時計が毎時５５～０５分の間にボタンを押すと００分にセットできます。

1 時刻設定（3秒押し） 押す。

●「正時合わせ」設定画面が表示されます。

2 時報に合わせて を押す。

●「設定完了」画面が表示されます。

●リモコンの時計が「００分」にセットされます。

お知らせ

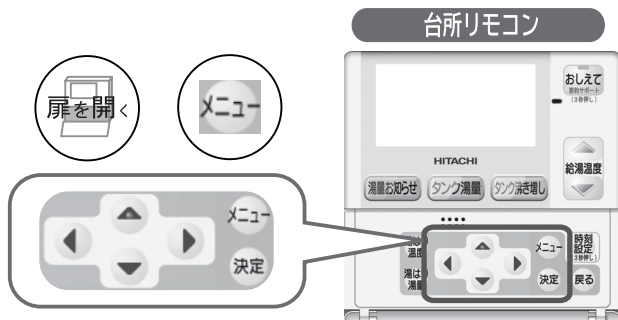
●正時（しょうじ）とは、「7 時ちょうど（7：00)」や「12 時ちょうど（12：00)」のように「毎時０分」をいいます。
●毎時 05 分～ 54 分の間に設定が必要な場合は、「時・分の設定」にしたがって設定してください。

給湯機の設定（続き）

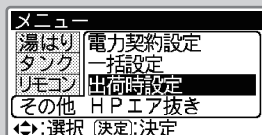
■工場出荷時設定

■各設定を製品出荷時の設定に戻します。

●工場出荷時設定を行った後は、必ず一括設定を行ってください。➔P.21

●その他の設定（給湯温度・湯量お知らせなど）は給湯機をお使いになりながら適切な設定を行ってください。

1 で「その他」「出荷時設定」を選択し

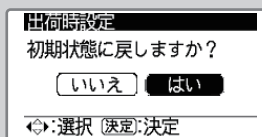
を押す。

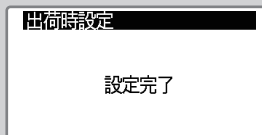
●「出荷時設定」の画面になります。

2 で「はい」を選択し

決定 を押す。

●「設定完了」画面になります。

●自動で「再起動します。しばらくお待ちください」の画面を表示後、自動で、「標準画面」に戻ります。

出荷時設定
初期状態に戻しますか？
いいえ　はい
:選択 決定:決定

出荷時設定
設定完了

●「いいえ」を選択すると現在の設定を継続します。

■設定項目一覧

設定項目	出荷時設定	頁
給湯温度	４０℃	➔P.23
湯はり温度	４０℃	➔P.24
湯はり湯量	２００Ｌ	➔P.24
沸き上げ	おまかせ　節約	➔P.44
湯切れ防止	少量	➔P.45
電力契約	「０４」	➔P.43
節約設定	０時間	➔P.45
使用休止予約	なし	➔P.35

設定項目	出荷時設定	頁
使用休止予約の休止日	なし（解除）	➔P.35
使用休止予約の再開日	なし（解除）	➔P.35
音声ガイド	しんせつ	➔P.46
ガイド・ブザー音量	標準	➔P.46
コントラスト	レベル８	➔P.12

リモコンにこんな表示がでたら

■点検表示

① 下記の点検表示が表示される場合は、お買い上げの販売店または「修理コールセンター」にご連絡ください。点検表示の解除方法は各表示によって異なります。

●下記に点検表示画面の例を示します。

点検　Er01
メニューボタンを３秒以上
長押しすると点検表示を
解除できます。
決定:決定　◁▷:次ページ

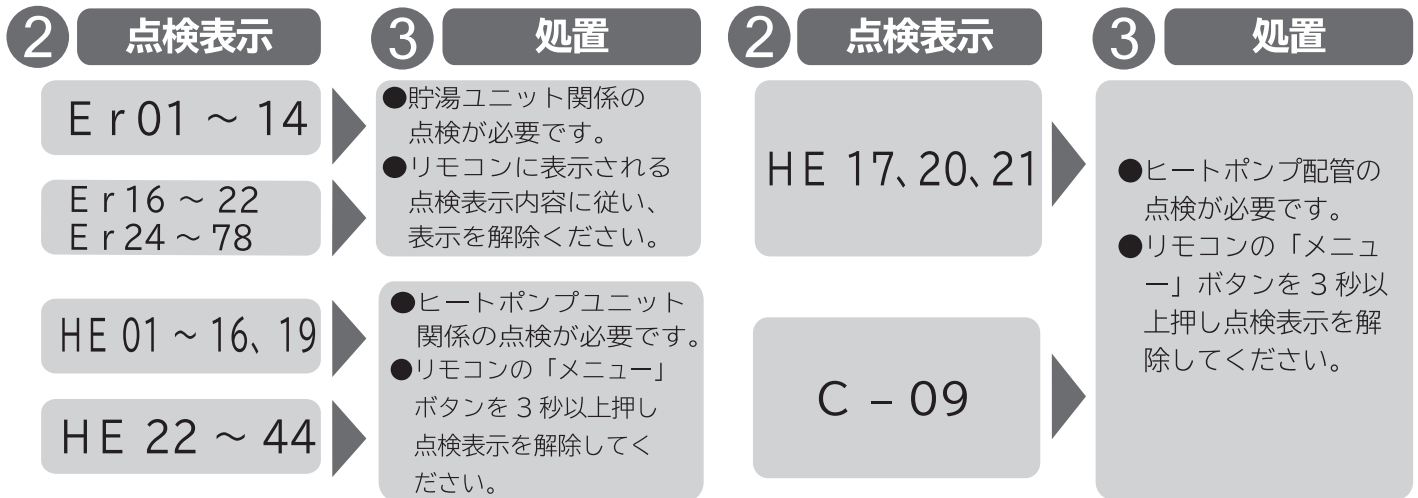
（点検　Er01）

点検　Er11
本体の電源スイッチを一度
切り、再び入れると点検表示
を解除できます。
決定:決定　◁▷:次ページ

（点検　Er11）

点検　Er14
ご使用を控え、お買い上げの
販売店、または修理コール
センターに連絡して
ください。
決定:決定　◁▷:次ページ

（点検　Er14）

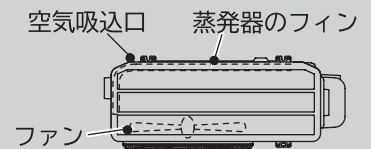
② 点検表示	③ 処置
Er01 ～ 14 Er16 ～ 22 Er24 ～ 78	●貯湯ユニット関係の点検が必要です。 ●リモコンに表示される点検表示内容に従い、表示を解除ください。
HE 01 ～ 16、19 HE 22 ～ 44	●ヒートポンプユニット関係の点検が必要です。 ●リモコンの「メニュー」ボタンを３秒以上押し点検表示を解除してください。
HE 17、20、21 C－09	●ヒートポンプ配管の点検が必要です。 ●リモコンの「メニュー」ボタンを３秒以上押し点検表示を解除してください。

※HE－17、HE－20、HE－21、C－09 が再度、表示される場合は、ヒートポンプ配管の点検が必要です。お買い上げの販売店または「修理コールセンター」にご連絡ください。 ➔P.56

お知らせ

●試運転時販売店が連絡先の登録を行っている場合、本ページの点検表示画面で台所リモコンの「▷」を押すと、予め登録した販売店名と連絡先の電話番号を表示する画面に移ります。

点検　Er11
販売店名:
ヒタチアプライアンス
電話番号:
１２３４－５６７－８９０
決定:決定　◁▷:前ページ

お困りのときは 修理を依頼される前に、調べてみましょう。

	こんなときには	処置と確認事項
貯湯ユニット	タンク排水管から水が出ている	●沸き上げ中（リモコンに「沸き上げ」や「沸き増し」が表示されているとき）に膨張水の排出を行っている。 →正常な動作です。沸き上げ中は、タンク内の水がお湯になるときに膨張した分を排水します。通常一晩で 10L ～ 20L 排水します。
		●沸き上げ中でないときに、お湯や水が排水される場合は、逃し弁の点検を行ってください。→P.42
ヒートポンプユニット	昼間時間帯に沸き上げを行う	●お湯が不足しないように、沸き上げを行っています。正常な動作です。残湯量表示が全て点灯している場合でも「湯切れ防止」を設定していると、沸き上げを行うことがあります。
		●外気温度が低いとき、凍結防止運転のため、沸き上げを行う場合があります。正常な動作です。
	深夜時間帯になっても沸き上げを開始しない	●朝方に沸き上がるように水温や残湯量に合せて、沸き上げ開始時間を調整するためで（ピークシフト機能）、正常な動作です。
	深夜時間帯の終了時間よりも早く沸き上がる	●タンク内の残湯量が多い場合は、早く沸き上げ終了することがあります。
	ヒートポンプユニットのドレンから水が出る	●沸き上げ中は、大気から熱を吸収するときに発生した結露した水を排水します。正常な動作です。
	沸き上げ中、ヒートポンプユニットの蒸発器が霜で白くなる	●冬季は、蒸発器のフィンに霜がつくことがありますが、正常な動作です。
	ヒートポンプユニットが運転 / 停止を繰り返す	●外気温度が低いとき、蒸発器の除霜のために、ファンの運転 / 停止を繰り返します。正常な動作です。
	ヒートポンプユニットから運転音がする	●沸き上げ中や凍結防止運転中は、運転音がします。 また、外気温度が低いときは、運転音が大きくなる場合がありますが、異常ではありません。
	使用休止設定中なのにヒートポンプユニットが運転する	●外気温度が低いとき、凍結防止運転のため、沸き上げを行う場合があります。正常な動作です。
給湯	お湯が出ない お湯の出が悪い	●タンク専用止水栓が閉じている。 →タンク専用止水栓を開いてください。→P.16
		●断水している／給水圧が低い。 →断水が終わるのを待ってください。
		●配管が凍結している。 →お買い上げの販売店または工事店へご連絡ください。
		●「湯量お知らせ」運転のオートストップ機能がはたらいている。 (BHP-ZA37JU, BHP-ZA46JU) →すべての給湯を止めて、「湯量お知らせ」ボタンを押し、機能を解除してください。→P.25

	こんなときには	処置と確認事項
給湯	お湯がぬるい お湯が足りない （残湯量の表示が消えている）	●沸き上げ設定が、「おまかせ 節約」である。 →沸き上げ設定を「おまかせ 多め」にしてください。
		●使用休止予約設定になっている。（リモコンに「使用休止中」の表示がある） →使用休止予約設定を解除し、「タンク沸き増し」ボタンを押してください。 →P.33 →P.35
		●深夜時間帯 (夜間沸き上げ運転中) にお湯をたくさん使用した。 →「タンク沸き増し」ボタンを押してください。 →P.33 →深夜時間帯 (夜間沸き上げ運転中) に湯はりなど大量のお湯を使うと、翌朝、充分に沸き上がらないことがあります。「湯切れ防止」を設定してください。 →P.45
		●いつもに比べてお湯をたくさん使用した。 →「タンク沸き増し」ボタンを押してください。 →P.33 →お湯をたくさん使う予定があるときは、前日に沸き上げ設定を変更するか、「湯切れ防止」の設定をしてください。 →P.44 →P.45
		●混合水栓から出るお湯は、配管の放熱によって低くなることがあります。 →リモコンの給湯温度 (「▲」ボタン）を高くしてください。 →P.23
		●サーモスタット付混合水栓使用時に混合水栓側の設定温度まで上がらない。 →リモコンの給湯温度を混合水栓側の設定温度より約10℃高くしてください。 →P.19
		●タンクのお湯の温度が、設定した給湯温度より低い場合、設定温度のお湯は出ません。 →「タンク沸き増し」ボタンを押してください。 →P.33
		●逃がし弁からお湯が漏れている可能性があります。 →逃がし弁の点検を行ない漏れがないことを確認してください。 →P.42 漏れがある場合、お買い上げの販売店、または工事店に連絡してください。 →P.56
	給湯温度が変化する 水になる	●下記の場合が考えられますが、異常ではありません。 ・水道の圧力が変動した場合。 ・給湯量を変更した場合。 ・給湯量が極端に少ない場合 (混合水栓の湯側の量が少ない場合)。 ・シャワーと台所など同時に使用した場合。 ・シャワーを一旦止め、しばらくして再給湯した場合。
	お湯から油が出る、 お湯が臭い	●お買い上げ直後は、配管工事のときの油や臭いがお湯に混ざって出る場合がありますが、しばらくすると消えます。異常ではありません。 なお、しばらくしても油や臭いが消えない場合は、タンクの湯の入れ替え、配管工事時に取り付けた配管材料などの確認が必要です。お買い上げの販売店または工事店に連絡してください。
	お湯が白く濁って 見える	●水中に溶け込んでいた空気が、蛇口を開けたときに細かい泡となって出てくる現象です。少し時間をおくと消えます。異常ではありません。

お困りのときは（続き） 修理を依頼される前に調べてみましょう。

こんなときには		処置と確認事項
おふろ	湯はりができない（「湯量お知らせ」を受け付けない） 湯はりが途中で止まる（「湯量お知らせ」を中止する）	●タンクにお湯がない。（残湯量の表示が少ない、消えている） →P.14 →残湯量の表示が 3 つ以上ないと湯はりが途中で止まることがあります。「タンク沸き増し」ボタンを押して、しばらくして (約1時間) から湯はりを行ってください。→P.33 ●タンクのお湯の温度が低い。（残湯量の表示は出ている） →「タンク沸き増し」ボタンを押してください。目盛は約 45℃以上のお湯の量を表示します。残湯温度が、湯はり温度より約5℃以上高くないと、「湯はりができない」「途中で止まる」ことがあります。
	浴そうのお湯があつい	●湯はり温度の設定を低くしてください。「湯はり温度」は「給湯温度」と異なる温度を設定することができます。
	浴そうのお湯がぬるい	●湯はり温度の設定を高くしてください。「湯はり温度」は「給湯温度」と異なる温度を設定することができます。
	浴そうのお湯が多い	●湯はり湯量の設定を少なくしてください。
	浴そうのお湯が少ない	●湯はり湯量の設定を多くしてください。 ●湯量お知らせ運転中に湯はり以外の給湯をした場合、他に給湯した分だけ、湯はりする湯量が少なくなります。
	浴そうのお湯が青く見える 浴そうや洗面用具に青い線がつく	●光の波長や浴そうの色によって、浴そうのお湯が青く見えることがあります。また、配管（銅配管）から溶出したわずかな銅イオンが、石けん成分と反応して浴そうのふちや、洗面用具などが青くなることがありますが、異常ではありません。汚れを放置すると取れにくくなりますので浴室用洗剤で掃除してください。

こんなときには		処置と確認事項
リモコン	リモコンの表示部が消えている（電源が入らない）	●200V 電源ブレーカーが「OFF」になっている。電源ブレーカーを「ON」にしてください。➔P.16
		●漏電遮断器のスイッチが「OFF」になっている。スイッチを「ON」にしてください。再度「OFF」になる場合は、「OFF」のままお買い上げの販売店へご連絡ください。➔P.15
		●停電している。停電が終わるまで待ってください。
	リモコンのバックライトが消える	●リモコンのバックライトは約 30 秒で自動で消えます。正常な動作です。
	給湯温度の変更ができない	●「湯量お知らせ」機能がはたらいている。すべての給湯を止めて、「湯量お知らせ」ボタンで「湯量お知らせ」機能を解除してください。➔P.25
	音声ガイドが出ない	●音声ガイド設定が「切」の設定になっている。「しんせつ」または「標準」の設定にしてください。➔P.46
		●ガイド・ブザー音量設定が「切」の設定になっている。「切」以外の音量を設定にしてください。➔P.46
	リモコンを操作しても操作音が出ない	●ガイド・ブザー音量設定が「切」の設定になっている。「切」以外の音量を設定にしてください。➔P.46

仕様

■システム

	仕様			
形式	ＢＨＰ－ZA46JU	ＢＨＰ－ZA37JU	ＢＨＰ－Z46JU	ＢＨＰ－Z37JU
仕向地	一般地（次世代省エネルギー基準Ⅲ地域以南、外気温 -10℃まで対応）			
適用電力制度	季節別時間帯別電灯型、 時間帯別電灯型 (通電制御対応)			
相数／定格電圧 (定格周波数)	単相 200V (50／60Hz)			
最大電流	18A	17A	18A	17A
沸き上げ温度範囲	約 65℃～約 90℃			
年間給湯効率（JIS）※6	3.1	3.2	3.1	3.2
冬期高温沸き上げ温度	90℃			
着霜期高温沸き上げ温度	90℃			

■貯湯ユニット

	仕様			
形式	ＢＨＰ－ＴＡＺＡ464	ＢＨＰ－ＴＡＺＡ374	ＢＨＰ－ＴＡＺ464	ＢＨＰ－ＴＡＺ374
設置場所	屋外			
タンク容量	460Ｌ	370Ｌ	460Ｌ	370Ｌ
最高使用圧力（給湯側）	190kPa			
外形寸法	2,165mm (高) 625mm (幅) 730mm (奥行)	1,835mm (高) 625mm (幅) 730mm (奥行)	2,165mm (高) 625mm (幅) 730mm (奥行)	1,835mm (高) 625mm (幅) 730mm (奥行)
質量 (製品質量 / 満水時質量)	62kg ／約 522kg	54kg ／約 424kg	62kg ／約 522kg	54kg ／約 424kg
消費電力 制御用	5W			

■ヒートポンプユニット

	仕様			
形式	ＢＨＰ－ＨＡ604	ＢＨＰ－ＨＡ454	ＢＨＰ－ＨＡ604	ＢＨＰ－ＨＡ454
外形寸法	720mm (高) ×792mm (幅) ×299mm (奥行)			
質量	56kg	55kg	56kg	55kg
中間期標準加熱能力 / 消費電力 ※2 ※3	6.0ｋW ／ 1.37ｋW	4.5ｋW ／ 0.97ｋW	6.0ｋW ／ 1.37ｋW	4.5ｋW ／ 0.97ｋW
中間期標準運転電流 ※2 ※3	7.2A	5.1A	7.2A	5.1A
冬期高温加熱能力 / 消費電力 ※1 ※2 ※4	6.0ｋW ／ 2.00ｋW	4.5ｋW ／ 1.50ｋW	6.0ｋW ／ 2.00ｋW	4.5ｋW ／ 1.50ｋW
運転音※5（中間期※3/ 冬期高温※4）	42dB(A)/44dB(A)	38dB(A)/42dB(A)	42dB(A)/44dB(A)	38dB(A)/42dB(A)
冷媒名および封入量	R744 (CO_2) /1.040kg	R744 (CO_2) /1.000kg	R744 (CO_2) /1.040kg	R744 (CO_2) /1.000kg
設置可能最低外気温度	−10℃			
設計圧力	高圧部 13.3 ／低圧部 8.0MPa			

※1　低外気温時は除霜のため、加熱能力が低下することがあります。
※2　沸き上げ終了直前では加熱能力が低下する場合があります。
※3　作動条件：外気温 (乾球温度／湿球温度）16℃／12℃、水温 17℃、沸き上げ温度 65℃
※4　作動条件：外気温 (乾球温度／湿球温度）7℃／6℃、水温 9℃、沸き上げ温度 90℃
※5　運転音は JIS C 9220:2011 に準拠し、反響音の少ない無響音室で測定した数値です。実際に据え付けた状態で測定すると、周囲の騒音や反響を受け、表示値よりも大きくなるのが普通です。
※6　JIS C 9220:2011 に基づき、ヒートポンプ給湯機を運転した時の単位消費電力量あたりの給湯熱量およびふろ保温熱量を表したものです。
年間給湯効率（JIS）＝1 年間で使用する給湯に係わる熱量 ÷ 1 年間に必要な消費電力量
なお、値は下記条件で算出した値であり、実際には地域条件、運転モードの設定やご使用条件等により変わります。
年間給湯保温効率（JIS）算出時の条件
・着霜期高温条件：外気温 (乾球温度／湿球温度）2℃／1℃、水温 5℃、沸き上げ温度 90℃
・冬期給湯モード条件：外気温 (乾球温度／湿球温度）7℃／６℃、水温７℃、沸き上げ温度 65℃(BHP-ZA46JU、BHP-Z46JU)
70℃(BHP-ZA37JU、BHP-Z37JU)
・着霜期給湯モード条件：外気温 (乾球温度／湿球温度）2℃／１℃、水温５℃、沸き上げ温度 65℃((BHP-ZA46JU、BHP-Z46JU)
70℃(BHP-ZA37JU、BHP-Z37JU)
・夜間消費電力量比率（JIS C9220：2011 冬期給湯保温モード条件時）：80％

この製品は日本国内家庭用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

保証とアフターサービス

■保証書（添付）

●保証書は、必ず「お買い上げ日、据付工事店名（販売店名）」などの記入をお確かめのうえ、据付工事店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。（取扱説明書、工事説明書なども保証書と一緒に保管してください。）
●保証期間は、お買い上げいただいた日から本体１年、冷媒回路（圧縮機、水加熱用熱交換器、空気用熱交換器および冷媒が通る配管経路など）は３年、タンク（缶体）は５年です。

■補修用性能部品の保有期間

●補修用性能部品の保有期間は製造打切後８年です。
※補修用性能部品とは、その製品を維持するために必要な部品です。

■定期点検契約（有料）のおすすめ

●本製品を長期間安心してお使いいただくために、３～４年に１度、専門技術者による定期点検（有料）を行ってください。なお、給水用具（逆流防止装置）に関しては（社）日本水道協会発行の「給水用具の維持管理指針」に示されている定期点検の実施をおすすめします。
●定期点検につきましては、販売店または当社サービスエンジニアリングセンターへご相談ください。
●点検の結果、部品交換が必要なものは、有料で交換します。

定期点検の主な項目

項目	内容
据付状態の点検	●設置状態の点検･配管接続部の水漏れ点検 ●配管、その他の保温状態の点検 ●電気絶縁の点検
機能部品の点検	●電気部品（配線、導通、動作の確認）の点検 ●弁類の点検（減圧弁、逃し弁）
清掃	●貯湯タンク内の清掃（沈殿物の除去など） ●給水継手のストレーナの清掃

消耗部品について（有料）

消耗部品			
●逃し弁	●減圧弁	●混合弁	●センサー類
●パッキン類	●ゴムホース	●三方弁	●電動弁

※上記部品の交換時は、当社純正部品と交換してください。

■技術的なお問い合わせは

●右記の「技術相談センター」へお問い合わせください。

■修理を依頼されるときは

●お買い上げ店へ下記を連絡ください。お買い上げ店が不明な場合は、右記の「修理コールセンター」へご連絡ください。

1. 形式（保証書に記載）
2. 故障の状況
3. お名前、ご住所（付近の目印なども）、電話番号
4. 販売店名

修理料金
保証期間中：保証書の規定に従って修理させていただきます。
保証期間がすぎている場合：修理によって使用できる場合は、お客様のご希望により有料修理いたします

■修理コールセンター

(0120) 649-020（携帯電話からも可）
受付時間　365日・24時間受付

■技術相談センター

(0120) 578-011（携帯電話からも可）
受付時間　9：00 ～ 17：00（土日祭日を除く）

■サービスエンジニアリングセンター

受付時間　9：00 ～ 17：00（日祭日を除く）

北海道 (011) 717－5146
〒060－0809
札幌市北区北９条西 3-10-1（小田ビル８階）

東北　(022)225-5972
〒980－0065
仙台市青葉区土樋１－１－11

東京　(03) 3649-3811
〒135－0016
東京都江東区東陽５－29－17（住友不動産東陽ビル）

北陸　(076) 429－6861
〒939－8214
富山市黒崎 627－3

中部　(0568) 72－0131
〒485－0072
小牧市元町４－66

関西　(06) 6303－6159
〒532－0022
大阪市淀川区野中南２－11－27

中国　(082) 283－9374
〒735－0029
広島県安芸郡府中町茂陰１－９－20

四国　(087) 833－8701
〒760－0072
高松市花園町１－１－５（花園ビル）

九州　(092) 561－4854
〒815－0031
福岡市南区清水４－９－17

※所在地・電話番号などは、予告無く変更することがありますのでご了承ください。

日立アプライアンス株式会社
〒105－0022　東京都港区海岸一丁目16番１号（ニューピア竹芝サウスタワー）

ご購入年月日	年　　月　　日
販売店	
電話番号	

●お客様が弊社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を記録（録音など）させていただくことがあります。
●ご相談、ご依頼いただいた内容によっては、弊社のグループ会社に個人情報を提供し、対応させていただくことがあります。

用語集

ふだん聞きなれない用語や
混同しやすい用語を
説明します。

沸き上げ
（わきあげ）

貯湯タンクにお湯を貯めるために自動で沸き上げることです。

➔P.44

タンク沸き増し
（たんくわきまし）

少なくなった貯湯タンク内のお湯の量を増やすために、手動で沸き上げることです。

➔P.33

湯切れ防止
（ゆぎれぼうし）

少なくなった貯湯タンク内のお湯の量を増やすために、昼間の時間帯に自動で沸き上げる機能のことです。

➔P.45

湯量お知らせ
（ゆりょうおしらせ）

設定した「湯はり温度」のお湯を設定した「湯量」を給湯すると、音声と画面表示でお知らせする機能です。

➔P.25

電力契約番号
（でんりょくけいやくばんごう）

各電力会社の契約制度に対応した弊社独自の番号です。（電力会社の定める番号ではありません）

➔P.43

オートストップ
（おーとすとっぷ）

「湯量お知らせ」の運転の終わりに、自動で給湯を停止する機能です。
おふろのお湯はりに便利です。

➔P.25

湯はり湯量設定
（ゆはりゆりょうせってい）

「湯量お知らせ」で給湯する湯量で、40L ～ 540Lの範囲から 10L 刻みで自由に設定することができます。

➔P.24

２温度設定
（におんどせってい）

通常の給湯に使う温度と「湯量お知らせ」の給湯温度を、「湯量お知らせ」ボタンで切り替えることができます。

➔P.24

タンク専用止水栓
（たんくせんようしすいせん）

水道から貯湯タンクに水を給水する配管の途中にある栓です。貯湯タンクへの給水を止める時（排水前など）に閉じます。

➔P.16

タンク排水栓
（たんくはいすいせん）

タンク内の水を排水するための栓で、排水栓を開くと、タンク排水管から水や湯が排水されます。

➔P.15

タンク排水管
（たんくはいすいかん）

貯湯タンク内にある水や湯が排水される出口です。熱い湯が出る場合がありますので注意が必要です。

➔P.16

湯はり温度設定
（ゆはりおんどせってい）

通常の給湯とは別に、「湯量お知らせ」の運転時にのみ使用する給湯温度を設定することができます。

➔P.24

混合水栓
（こんごうすいせん）

湯水混合水栓ともいいます。水とお湯が混合され蛇口から出ます。
シングルレバー、ツーハンドル、サーモスタット付と種類があります。
混合水栓の特徴を理解し正しくお使いください。

➔P.19

残湯量
（ざんとうりょう）

貯湯タンクに残っている約 45℃～約 90℃のお湯の量で、リモコンの標準画面にマークで表示しています。
使えるお湯の量とは異なります。

➔P.14

給湯温度
（きゅうとうおんど）

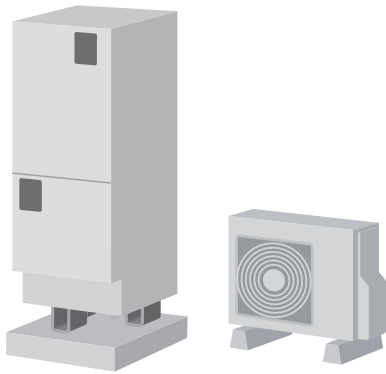
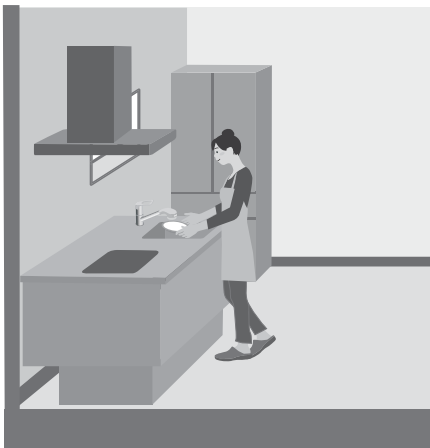
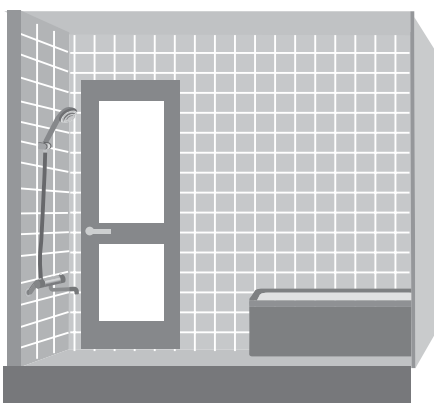
混合水栓に供給されるお湯の温度です。
湯はり温度とは区別しています。
混合水栓の蛇口から出るお湯の温度は、季節や配管の長さ、混合水栓の種類によって変わります。

➔P.23

使えるお湯の量

給湯や湯はりで使えるお湯の量で、タンク内の残湯量から「湯はり温度」で使えるお湯の目安量を計算します。台所リモコンの「タンク湯量」ボタンで表示できます。
貯湯タンクの高温の湯と水道の水とを混合して「湯はり温度」にするので、一般に残湯量よりも多く表示されます。

➔P.31

よくあるご質問

- **タンク排水管から水が出ている→**沸き上げ中はお湯が排出されます。
- **ヒートポンプユニットから水が出る→**沸き上げ中はドレン水が排出されます。
- **昼間時間帯に沸き上げを行う→**お湯が不足しないように沸き上げを行っています。残湯表示がすべて点灯している場合でも沸き上げを行うことがあります。
- **朝に残湯量目盛がすべて表示されていない→**深夜時間帯の沸き上げ運転中にお湯を多く使用した場合、深夜時間帯にタンク全量を沸き上げることができなくなり、残湯量目盛がすべて表示されないことがあります。

- **混合水栓から出るお湯の温度が低い→**配管の放熱によって低くなることがあります。リモコンの給湯温度▲ボタンを押してください。
- **サーモスタット付混合水栓使用時に混合水栓側の設定温度まで上がらない→**リモコンの給湯温度を混合水栓側の設定温度より約10℃高くしてください。
- **リモコンの表示画面が薄い、濃い、縦線が入る→**コントラスト調整をおこなってください。→P.12
- **混合水栓を「開」にしてもなかなかお湯が出ない。→**給湯配管内にある残留水が出るまでの間はすぐにお湯が出ません。

- **浴そうのお湯が青く見える→**光の波長や浴そうの色によって、浴そうのお湯が青く見えることがあります。
- **浴そうや洗面用具に青い線がつく→**配管（銅配管）から溶出したわずかな銅イオンが、石けん成分と反応して浴そうのふちや、洗面用具などが青くなることがあります。

愛情点検	長年ご使用のヒートポンプ給湯機の点検を！			
	ご使用の際、こんな症状はありませんか？	●運転中以外に逃し弁から水が漏れる。 ●漏電遮断器のスイッチが自動的に「OFF」になる。 ●本体や配管から水が漏れる。 ●その他の異常や故障がある。	ご使用中止	●故障や事故防止のため、「電源ブレーカ」を切り、「タンク専用止水栓」を閉じてから、販売店に点検をご相談ください。

日立アプライアンス株式会社

〒105－0022　東京都港区海岸一丁目16番1号（ニューピア竹芝サウスタワー）